廿三日の樞府本會議

東京出版一種院制度副立即では一

|展帯には | 政友師では二十二日

政友首腦部會議

三つた、しかして右委則館の委則をする意以が有力に強へられるに

仕朝鮮總督所遊理事官

圓端に進行せしめることに登せん 出来る限り網部引上の如き手段を

各國策案に調査局が

嚴密な検討を加ふ

「東京正面」與「成然不可能は一十三日子明十時四十分宮中 東部間におって開館、平泊、荒井正開稿長以下各種高度、 村上売記[34]、総括側裏田首建、港内園建以下各種高度、 田法開局長軍「伽伽原田章建」、港内園建以下各層路、次 田法開局長軍「伽伽原田章建」、天皇医下地域の下に

れた、よつて政府は戦策のお下げ渡しを待つて開議に附議無職の結果施設英語なく職業通り可決。 階下人間あらせら 2上程材上排記官長より指金製設あり、終つて鑑識に入り

古器真器を御配経、十八日新城御連過、平宝で御一部の上 一日年前三時「ひかり」で京

政府に配自忠市長を前高战車なる | 「天津二十二日同盟」 日本異然題

抗議を提出した、翌自忠氏は遂に一二十三日干後一時半より首相官邸

するニューコーク時別非上商税上 れる、外が富品は七月末陽段四朝 部の大使は地伝の途上アメリカに と、 交替米大使記憶度氏も大いに し、 交替米大使記憶度氏も大いに

品幣人型止級和の認め、過般來植

わが嚴重抗議に對し

衛兵の非行を認め

一、将来この種単件設生に對する一、本事件關係者の嚴重なる協調

香に重大影響を興へる事を避け、

で約するに至ったので、石田副館

世別語に路崎の諸母駿戸に関し盟。
世別語に路崎の諸母駿戸に関し盟。

八月十六日釜山御上陸、翌十日紫海地万御紀弦のため来る。

衛兵の

釜山御上陸

竹田宮殿下

に主力を述ぐと兆に、監督の前数。手するととなり、京城には現在の観校の増数、中鮮程度の職業忠校」と兆に明和十二年度から置行に済

女子訓練所の版大を十ケ年継版事立として政治し、これを内鮮児経統院を基礎とする農村女子講習館「京城女子質業學校経歴の學校を道

・質量が技を各近に一段な一郎とする

三日午前九時から金郎の各神仙 一丁の祭主にて明邱、釈僧、祝河祭三日午前九時から金郎の各神仙 一丁の祭主にて明邱、釈僧、祝河祭

【既東二十二日同盟】 庶泉側の崩

對中央妥協條件

は廿三日午即九時から唐野代蟬霖、蜀鏡討諱の結果左の如く應度を決しいはれる。

日にわたつて軍首殿都館議を聞き

ため削損女協保件を照行し二十日なほ変地郷氏は將介石氏に商見の

り、墜遊附近に於て決職を行っ作

業學校を増設

各道に一校乃至三校を新設

个府學務局の擴充案

品城神社における國連進度祈願祭

▲今非田政務器監▲文官網代大竹串率復者は次の通り

の祈願祭を経了した 時三十分國軍進展、國民報公赤號

りの報道に依れば、スペイン政府

「バッ二十二日紀盟」 國境方面と

赤城と国連の隆島を祈黙し同十時

朝鮮神宮に於る奉告祭並に祈願祭

國運隆昌の祈

件の奉告祭並

間 ギッイリア にりスポンスペイン内 「リスポン 行した旨政治したが、右政治局はとするスペイン政治は場所職を決

二十二日間 フラ

ンコ將軍の名で

リア放送局は二十二日革命軍首領 に達した報道によれば、セヴイ 軍部獨裁を宣言

税債の罪吹合を難した 「労働者」 【セザイリア二十二日同盟】セザ ランコ勝軍の名を以て全国に軍 猛烈な砲火を交め 政府軍艦三隻沈沒

・ジール境界に直つた革命軍は附一府軍艦二変は黒煙を上げ北没した『子ブラルタル二十二日開盟』タ | 戦略阻艦に交換を加へた結果、戦 政府派艦に支援を加へた結果、政権機は西南岸カデイス継続沿中の

激戦目睫に迫る

政府邀撃の準備終る

第二回委員會

は二十二日午前九時より第一館設

一、腹が十ヶ年計世 各論的質疑地をあり正午飲食

に特に重點を置くことになった。
き頭調の結論においてもこの點 米支協定に關して

説明を聴取 須磨南京總領事が 孔財政部長を訪問

脚公前氏がアメリカにおいて現 層京政府の正式説明を求めたが、 られてゐる米支健是の内容に關し る意定、なほブルーム側首相は廿一 ンドン野石、直もに食職に出版す

鮮氏を訪問し、過日来成立を修へ

駅間定は現録に願する米支間の扱 門強調した、陳公甫氏の所謂米支

展相定かならず、日本は東亞安定 アメリカ側の供與は低然物明せず要を開定せるもので現象に関する

り過ぎでゐるからいかん、六一とうも日本は年寄りが頑張

展情智談に次いで則かれる五國音 に出版する態定であるが今回の

設置論有力化

4いてワンントン質局と触さ折衝。脱立につきアメリカにおいては弦。際によって色光能に取上げられる「熱味の則造は早くも多能を散射さら大便は地伝の途上アメリカに 設機關とする意向であるがこれが、主義で歌む外途はなく、肖組の裁・阿闍代妻の以解は苦いこ。 数せず 野大鹿は純荷の寛め、通殿来植 事、商海官より遺伝し、これを常 一週下の財政院献から見て一意養遺 へるものと見られる。しかし気候ので人配に純和の寛め、通殿来植 事、商海官より遺伝し、これを常 現下の財政院献から見て一意養遺 へるものと見られる。しかし気候の下の大鹿は近 アメリカにおける那 大庭、外が各管局及び大便戦、顧 一碗の変定を点機に立案してゐるが はヨーロッパ政局に東大影響を興

小磯軍司令官 ける發北鮮へ

いものとなるべく、廣田首相の政

ても質規の可能性は並分に驚想さ 国家三十畝他中庭が政体に過ぎな治的頭中から急遽に認めないとし 国家は権めて値少で、名名提出の

八曜卅一分間山麓列車で千葉参照長連江水電視察のため廿三日午削

べし、但したと傾向だけで遊足

ニング語言相言既に開意されるが、日朝最代の答 後師の説は廿三日午前十時年まウ 【ロンドン廿二日同盟】ロカルノ

野部部省州政領北道部區 聖谷 定 米が大西洋上

お願いという。 大説を決定し認識に財職する即形 であるが、来年度重算基礎の膨齢 であるが、来年度重算基礎の膨齢 であるが、来年度重算基礎の膨齢 何にとらんとするかにあり、耐して関欧生活安定の質をあげる レー蟹及びデトロイト號を振戦し、前の現底に優勝する憂菌と見られる力が指し、九二九年臨洋艦中 - に常能臓臓を重む。 一九二八年以「ワシントン二十二日周盟」 アメ の傾向あるに覆み、聴度膨胀水面 て以来大西洋上には海立の艦隊を る、既に今回のス・イン汚私には 年五年 では来大西洋上には海立の艦隊を る、既に今回のス・イン汚私には

感職して猛烈な耐火を交へた 一般職員して猛烈な耐火を持ちませる。 に動って空中機能を開始、軍艦もを以て執行することを申合せた 一般職員とて猛烈な耐火を交へた

石翼革命愈よ成就

スペインの情勢は刻々悪化して

中等教育調查

を自定するに至った、マエガ射路四周部民の安全を保険出来ない信息のは今や東大危機に直面し、各 政府は今や重大危機に直面し、各軍の猛烈なる地震の間にスペイン

【東京出版】廿二日須昭南京總版 フランス代表マッシグリ氏はリエ ーランド直視は廿三日午前八時ロに入つた。ベルギー代表ヴァンゼ 「除設は出来の」。言回答した、更に カタロ ギニア 大統語 カンバニー 州知事は「外國人に對し實効ある 對し居留民の保護を要請した所、國領事は形勢の重大化に州知事に 氏の居留に英遺憾なきを期すると

全國社會課長會議

各性質能長能に本省より個別な資 車項を翻論し、正午一旦休憩、壁館の削がありたる後指示艦に臨職 「東京電話」全四世曾郡長の藤片

○側口聰氏(平北道內務部長)廿 ○井上消氏(即鑑信局長)廿二日 三京城長谷川町三二に轉居

らちやも間にあ

發表

が山積したのを想起せざるを得物、満洲事態以前に未解決問題 天地支黄 明けるのが、刻々と、符ちどほし wの脚地歌·鬼、 昔の死骸を……さらた死骸さへな、 ・ 古の死骸を……さらた死骸さへな、お

飛び起た。そしてガラリと声を開って出た! と彼は数はれるやうに 「オつ?」

だが、症はまだ鼠つ暗だった。

つて行くのが配に映った。 僧形の人形が、各々、真つ赤な娼」頭罪や香盤などをせはしげに飾つ 死骸を、血腿できがしてゐたが、一平次即は、自分で殺した女房の ~~はてな?

區域の搬大は必ずしも交通機能 京電の値下大いによし、行政 代はとうに過ぎ去つてゐる 年度の養好に計上されるうなり

河泉器を古神の代用と心得た時

いよく明単中央深泉道が米

の既金町一化を必要とせざらん

近けて行つたが、その時、仮のち つたー・・える」どうなるものかり は、先刻の僧たちが、柳具や帳や脆はすでに明かれて、内師の声に 々した光の中に浮き出してゐた。 が、下野の山々を朱にそめてかい 『……しまつた、後が明けてしま 態館や質徴には人間 …この豊だった 新しい細なの大 見あたらなかつ 伽藍は暖の冴 **平次地はなほ** 源战的

次いでハル長管はスペインの「懈然」ふと、数年間に死んだお苦と自分 野い出した 「一似てゐる」 彼はぞっとした。

に、この家へ融つて来てゐるやら も」 が、血みどろな顔して、自分と共

れは既だった。――びつしよりと一般死にさけんだと思ったら、そ

を一驟に斬つて殺したお害の亡靈 | 免疫が見つけられて、お吉とわかと、手斧の刃で、ばんと、後頭部 たくさんな人が楽まる。.....すぐ 響がする。平沢郎は、夜具の中で、 との間にできた――亡き見の聲を どこか遠くの方で、嬰兒の泣く

できな彼の眼つきだつた。 つぶやくと、帯をしめ直して、 すこしもじつとして居られない

り忘れてゐたが、 村 治作 在 (191)

盘

を一掃しようで この心掛けで世 の中から貧しさ

はありませんか

策乏望**萬** 出退の人 づ治貧待

解兵器がある日だつた。 常の建立が成就したので、その入 うに、平次郎は日 ぐ天の不安に襲はれて、そはく まアよかつたと安心したや 今日は脚島の御

一帯でよ……お苦のやつの死肢を あのまる指でゝおいたが、

今日は入佛の供容に、丽早くから

--それにつれて、下手人

生ずる筈!

O

が指すこを 處:の 生き 必いれ間・世・著さる もの を !!! 奥:の こ

· /x

1

いる下覧御刻即述亮義滕佐

+

冷たい汗の中に身は側ばつて

眠つ | 家の外へ | 庁田− 70

、郷島のはらへ

旅の珍談詩音 乎物澤山! 猛獸生捕法公

泳上達。祕訣 新

特價六十二 錢 製物

な白眼で廿三日本府を訪れて故意 **順長さんその他の窮部はスマー**

Ħ

本 0)

若き第

線

我が

ŀ,

ス

達 0 誇り

廿三日午前十一時五分頃、龍山驛

で賞金町行覧期三一八製に中年

ノく」で前別集で、新館州二歳を | き日の賦ひ出とならる大成丸の名はその菅「爺のローマ | この航海はまたそのほ をした脳に、即しい四端日本の看一を終へ、更に横須四配断度校で軍 懐しき思ひ出の古典でもある、 組の以生はすでに三年の席上製料 の第一步に乗り出したものである この総置こそは海の第一級に日夜

敗へ、その間五十三回の練習航海

かへ、冬季は南洋推協へ遠洋航海」にその例を見ざるとこ

する語の多くなつたのは船よりも

大る海段が戻くましき店職を殴け 一線に無名外交官として常に優別 野が精通日本の則追には海連の第

然を担手に遡歩せる航海學、運用・練習船に殴ける一年の生活は大自 公同動作に馴れしめるのである、

はことでである。 なる取離、缺乏にも耐へ、臨機の なる取離、缺乏にも耐へ、臨機の が来の船長だちはこの帆船でいか

和山勢で檢死した結果廿日女十時 土絹のブラウスに針のスカート、 した、ナモ、八位の脈形で細白富

製工器に 女型生風の羅光體が調音 サニ日午後四時頃京城元町四丁月 つてゐる

のストッキングには『四松三八』 んな破団を隠して死んだのか一切

器虐な間島特犯人

執行さる

きのふとけふ京城刑務所

と透視力を以て知られた

廿三日朝の概況

法龍

質では保煙防止についていろくいい。かねてから京場都市部設備党

調金海峡は廿二日夜来楽風雨のた

船の航行危機のため廿二日

七列県は流戦を中止した、野に廿 一般連絡船も駅前した 資連絡船は何れる網航し、これが 三日 を登山人前頭に計

玄海の荒れやます

最后内の水面段は卸小四一

調査を開始

させた。西一十銭以上で買はされ

鍾路署が

は大混雑

口午後十一時半頃大連巡口より東 | は無線の整置なく詳細不明である 「がす」、日無線による連絡出来す。丸出版せる機器である。

| 廿三日朝悲信局者無能]||大連汽||船位は北山に水役し乗組は全部数

乘組員は救助さる

一次九噸)は甘一一助せられたる模様なるも敷助船に

【金山勇語】 離風の魔来を受けた。何れも誤脱の已むなきに当り、様一い模様である

缺航の立往生客は千六百名

儀には 千六百 名の旅客がストッ

を呈した、廿三日夕割より脚釜連 ブを喰つて立住生し、非常な遊配

路船は砂瓶する見込みである、磐一

脚竜連絡船鉄航のため廿三日の

八八列車中止 けふ京城發

城極從山行八十八列班も連続中に

の祭言を汚し、京城人の生命を脳 にするばかりである、またオンド

ストーブ其他すべてこ

授をする、之を何とか最小級

今から悲愴するだに不愉快極まる | なつた。一部の人々によつて若へ | 徳義を避ぎ反省せしめること

かねての計畫で都市計畫研究會が主催し

煤煙防止の座談會を開く

られてゐる案の中には次のやうな

その他職々の意見を持つてゐるや

一に於て被血壁校制起射児童百甘名町張仁公立地通影校及胎生の松林

意味で日本の法世界を騒がせた個

今年は至極雨に終り―― 係王任の伊田技師の語季節迎れの梅雨が来さら | 本上界する……と仁川

颱風一過の後は急に用りつけ温度

話所に夏の名物を立があるだら

日本赤十字社切師本部では清原里

京城府県孫謀長の説許等あつた

内村政務保主任の原理に次で際江

れる日を待つてゐたが、廿二日に

城和立は甘三日午前一時復選

最際に属することになってゐるがそれ以上の値にすると無縁苦局は

水取締 錢以上の

を口質に十銭以上で取つてゐる店

最近の水の簡単語に入り氷の捕鯨

|图のため手通であつた安華報場||を開はず一貫目十銭を展産とし、

湯山城附近完全開通

廿二日夜と廿三日朝

赤十字林間

正是一个 講病際院

西風

振京 瑩城



兄城驛を根城 三人組で詐欺の一 | 医打たんとするところを観光、調

た朱奈当氏でもが京城縣へ下加す が回路者へ触端された、胜器の如 て、主砂流しで静取してゐた一味しており、不見城を舞蹈に地方人を相 主る六月十七日全南井邑から来 取 を自白、目下地融の行力源空中 雅の共被四名と共に東于國の地行 水 右犯行の外令器以來可れも別科四 物凄い腕の接事六名が一臘となり、べると何れも前科五郷三雅といふ

怪トランク

止伯は、日本スポーツ駅の野駅を総造を以て披騰したが、その総感はイギリススポーツ日間間]連日ロンドンにおいてオリンピック東京樹食問題につき各方面と打合せをし

北韓三十二世即も長崎縣五島の南 。かくて,夏の憂君,勳風十二日午後六時東部日二十八度、 | 由三時五島の北七百三十六

三日は中陸北部濱田の神合かひ東、受は北東と暴威をふるひ廿、かくてヶ夏の憂君ヶ鷵風は東北

祭の如く時班二十五キロで北郷二 しむ百三十ミリ以下、二十三日半年の如く時班二十五キロで北郷二 しむ百三十ミリ以下、二十三日半

上七百三子 ミリ以下、二十三百年

中國に上陸するか?

オリンピツク次回大會問題

煙突を取締 女學生死の旅 倒れて無殘少女重傷を負ふ みな底に夢追 漢江に死體介き上る 末に到る間の人の動きも裏してむなった京城府の今年一月から六月 で心理妙術で凡ゆる解病を感し、 目下領域中の秋光流棒術の削給者 三千四百九十七人▲奶娥三百三 と大農火のやらな数字を示して 介語が書うろうル 秋光晃榮師 三千餘人死 京城府の今年の狀態 全般天氣豫報 24 仁川の潮時 24 明日)天氣良く暑い 一環ったり

(間さん(こ)は世三日朝十時頃自 ドルの煙突その他の不完全な煙突

配達液ペトロール

年後八時より 明二十四日

塲

所

於府民館

中講堂

使

バス料金ヲ實施致候間此段謹告仕來ル八月一日ヨリ左記ノ通リ電車

柳、藤 油線及機を心地帯トシ此ノ地 從前通リデ個四

眼は學問の「マド」

姿勢は正しくメガネは正確

星旗グロタカ解脱双・ご型

(经二要)

脚ケ丘バス線、敷岩町バス線(東小門、敷 相互問

P、 既治療、弘崇町バス線・総景、弘兴町党領町街門、左ノ區間領衆東ノ集合へ一回ニ付金拾畿町町場イ號ノ線ト、ロ號ノ線トノ相互間町場イ號ノ線ト、ロ戦ノ線トノ相互間の大大・四路では、北京の大大大・田本の大大 品級八金銭其他

一角,京城殿即设留城間及南大門、朝鮮神宮侵留堪間へ都心地 一及職训練ヨリ京

店競眼堂學大

-京级五七三二(2)長本電

京城電氣株式會社家城電氣株式會社家城電氣株式會社

東|本京店

本勧業

完整 新生 法 店支城京社會券證業勧本日 債抽來 券籤月 **業銀行構內** 四四別 中雄

+

妙香山寺有林立木賣排

拉克克克 医血量量 血腥的 医血管心脏 经基础的 **法流**流而流流流流流流流流流流 商业公公公公公

で空が晴 00 • で頭が晴れる 京城二九七:電話本局四0五四、城府南 大門 通一丁目二十八



40.50 600粒入

1,300戦入

¥ 1.00



番よい

全定车前于三

實

動明王仙術 人 護 身 術 人 護 身 術 人 護 身 術

Ō

王仙術の神人

秋光晃榮師

演

(開公料無)

所則認以来の『家を出し一夜にし』クアウトして一談子並の郡を以近、いづれも七十ミリ代で終り総好の「旅游、城跡町一西国、船大十豊名。午昭:日に百八十ミリといる蕭銭船測後「現出したが、単総を心理よくノッ 都で博用の七二ミリを報頭として「江および大沙河に京て船戦七隻が」上

【紅輻射】劇塩安義地方は短か一「て侵水家屋一千百戸といふ水禍を した地方は腰川、定州、江川の三一

「弧軸」後の選失に置いて順線」は開発した

鴨緑江の増水異變

るが辞解が極山あるらしく隆重取一るなら伴れて行つてきる。と無き **飛し廻り被逐三百徐郎に上つてる | 動車資祉に勤めてゐるが夫婦にな** 間派に金ボタンの佐生養で盛んに「松里竜龍甲の内線の近半耳風」。

人妻を騙す

内牧の島金用伊って)を首階として

を撤步中出版つた成州都州北面優

安岳にも 黃蝶山現

芸手通り筋の商店を選引、極関で一

が毎日署に破壊された、一味は個一は去る九日成別に雌き離加山公殿

【金山】不理少年金ボタン五人組 | 黄種生わ野魚園朴興園(ま)の胴名

4號 | 山 | 展響する必要はない」と口論

になり、金親子は光に湯を出て、

一ぐらるしたらどうだい! といつた 顔を合はしたので、主人は「機関

釜山銀座街を荒す

選では日下身元その他副章中

耐力工廠位の例解人男の開発能が 年期七時頃、大同橋原揮下に推定年 土左衛門 [平郷] 廿二日

生命に属である

四復廿一旦府邦宮舎へ引移つた、選中であつた小立府尹は前次健康 香十四日以來所舊傳過で病言報· 小笠府手快方「至電車」

匪賊潜入の報に新義州署活躍

院に指言込み時報主當を施したが

【二蓍】全北生れ無機准案語(2) | 借九十回で実験食品に資恥ばすべ | びただしい、田舎の方には少く色

3、一泊の後路途につくを好板に 並征率一行計名か八月廿六日夜來 【後山】熊本濟々慇劍道部の崩離

ら火の出るやうな血戦を激想さ

に乗り、東亜派都に投稿、女を削くな形式のもとに継ずる数は質におの服を作びて進、杯の兩名は弯北・す戦戦が安島方面にも観生して夜

しめし合せ、常日家出して来た 十九日 再び成典で諸合ふ ことを

【安臣】恐ろしい役粉をまき取ら

海粉に悩む

料に那へ出れ

濟々醫劍道部

治一週间の傷を貸はせたので同氏

り遡れの重傷を負ひ直ちに道主路 料理の法女は逃げ迎れて下燃とな 旱魃は完全に解消

関盤。即の現實を力強く物態のた。 には今しがたの大雨を何處へやら、 の形態唯一つを生態線としてある。 四時ごろより小雨となり午後六時

しかも戦節に上述・囮にわたって一番々たる夏の太陽が真空館に照り「家城道共を讃ぎ駆射上に避転中)関雄が市の城質を力強く勧維った。には今しがたの大雨も何度(やら)と駆射上に避転した人々、(下)り駆卵唯一つを生命観としてみる一四時ごろより小雨となり千後六時」(葛真上は雷桐周朝能多麗の淡水

日に百八十年

銀、百戸といふ東学を小し文字通「母で活動を開始したが、季ひ午後」つた駅、百戸といふ東学を小し文字通「母で活動を開始したが、季ひ午後」つた。 といふ東学を小し文字通「母で活動を開始したが、季ひ午後」つた

の雨館は左の通りである(新蔵州一翫、採木公司直覧材二十一點を流 二十二日子前十曜までの平北各郡一及三器ギ、安東側では料機林十四

【新藝州】二十一日午則六時から

| 林の繁留木林六百尺締、旭慶林の | ス々と退院しゐるので至うじて収:

答してある有標である

二十二日正午までに新銭州昭和木

してゐる、日下のところ衙場が

に増水、後は矢のやちに流れ出し一揆陰にあるので常局は刺軍に廃心

金ボタン五人組

一日午後十一時切町内の銭湯にて 主例行及太単『心さんが法る七月

[馬山] 斑闪西町 | の1 | 国指服内

盗人猛々し

十八歳の少年が首領で

各地の雨量

「頭にして早駅から水場に優し席」の伝流を示した。新藤伽教では最 水度を低下して行くという有線でブッ通しにゆつた南景楽後の間は「三時生母水五米三十五という今年」競れ扱いた『ありなれ』も演練度や登三時まで練門十時間に亘つて「一刻と唱縁近の母水を来たし年後」カラリと晴れた夏奈の下で流行に

子登三時まで約四十時間に亘つて 一刻と間暴江の増水を来たし午後 カラリと明れた夏至の下で並行に「郷から解説され歴史は眺を叩って」を溢れ出し「郷縁江はみる〈~うも「歌となりこれ以上吹行し切れない「新魔州」一十日夜から二十一日 一斉に土が係りに使った蔡雨は利 埋いてこんとは思い〈~と大騒ぎ」雨風をみせて同地方「滞は全く早」対すべうカ美国でプリカラのできた。 およめこれ以上吹行し切れない

|流すやうな暴雨で大小域多の支流||め道立路院、府立市圧断院は超流||ないかと見られ、魏城された順艦|

くらつてみた物は江の後は山地を一新思路を出してみるが、これがた。忠北忠州郡跡徹血三清里李朝渡で一のらしい

【新藝州】湯水で流伐ストップを一ある平腹の赤剣は毎日五、六名の

【平場】底なしの底域をふるつて

物関しないが所称の手帳に関した。ら見て繋配の上線路に腹壁したもたが及ばず途に線数した、豊元は、から園園が流れ出てゐるところか

對策に腐心する平壌常局者

て廿一日夜知人の七尾町六〇一 かつてふる 在安は義兄の金判岩と迎れ立つ かつてふる

して火の中に飛び込ませ自城をは

た際、東莞町二七二東征安(こ)が「性を利用して町の町々にたき火を西芸百二十米の地點にさしかくつ「破るといふ始末」遠火に樂まる習 つ北行貨物列用が東雲町線道路切しなるので痒いてゐると遠にはかき

【大邱】 廿二日午削譽時五十分ご | 内に多く、何分痒くてたまらなく

知人の宅で財布を失敬し

採集に大意

筏流失

赤痢病患者の底なし發生で

過して酷暑襲來

十三百戸に浸水

四十時間降り續いた猛雨

金山 北三日午町九時から 大に銀行した 全鮮各地で一齊に 國運隆昌の祈願 帝都の戒嚴令撤去を機とし國民 すべき祭祀(中祭)は總督府の通 一致率公の誠をいたし、國運の よく一隆昌ならんここを祈願 水原二十三日午前九時か一面朝した 一齊に、いど嚴かに執行された 牒に基き、二十三日全鮮各地で

赤城を神削に新いる国連の陸心を一二十三日午削ル時から々属連隆昌一般令鮮正に伊ふ国連隆昌の新願祭「山田久代さんは今回、全日本後良

日午前九時から二・二六事件の成

群山 西頭道では「子三

多数量列の上国連の隋日を際配し

祈願祭 を執行、官民有志多政会

を殴かに執行した

超満員の避病院

帝部の武族予解上に際し国民一致一国軍の除呂を知すべく二十三日午電。その他召民を教参列のもとに一座し国民一政部力奉公の蔵を載し 下道經驗設施に出口官公共、各監督地區呂而願意を続行、駆知事以 現せんが最め、時心とめて祈願祭を 勝力奉公の滅を封し圏巡の降目を

自九時から江景神仙で計画祭を執 江景帝部の武統令解止に 光州二十三日北神町で

元山 二十二日子前九時か 神北主版の下に新願祭を執行、記

一気の頭上に天井土が剝げ落ちて大 【平井】山手小製校で技業中の兄

海道専州郡東雲面三非里に誕生し一来だ護御されない 【海州】十八日午町十一時ころ変

共犯の情夫 逃走中就縛

時野祭官の脳を覗ひ逃走した、直

らに非常級を**扱り拠貨中であるが**

午後引致汉調《中、廿一日午後三 受人容疑者として義州都水図面石

窓向代義領(三) 一段名―を二十日

殿に置する襲撃方器があるので府であるが、石松小型校にも同様危 闘きを演じたのはつい先年のこと

| (工事] | 十二日年前等時五分ころ | イメンでもない今城安中から近男 | 人様戦中を北部景段が派知・二十年前等原理 | 四五金巻子方から田 | けまでの値かの間に四吋もの火災 | 日道、杯の用名に御用火、同士三分配火したが挺密値が | は消防臓を回撃らはした 火事シーズンでもないのに 平壤消防隊面喰云

条語が完整的成態地の肺頻繁を鑑。兜を続行、官民多数参列、泰公の「厳企廃止を概とし飯南部呼鳴では」「海・州」・道末よび海州高では「悲さが動きるい。兜を大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き 大き は、断断、その他 水・原・コーニ 日午前 九時から出版。 「一年、日午、東西・浦・竜命に於ける悲、別しに版を極めた 「東西・川・田では遺鮨の通牒に、十二日午前 七時から出席的に受 エニ 四九追追がけから出た。同四田東山神碑で、道、断断、その他 水・原・コーニ 日午前 九時から出版。 「瀬・中・人間 日午前 五時 十分称し露ればいから 一次・原四田東山神碑で、道、断断、その他 水・原・コーニ 日午前 九時から変形ができ 一次・原・コーニ 日午前 九時から出版。 「瀬・中・人間 日午前 五時 十分称し露ればいる。 「瀬・中・人間 日午前 五時 十分称し 「瀬・田・本の他」 「水・原・コーニ 日午前 九時から変形が ら元山神畔で新聞祭を執行、官民一民一同参列、赤誠新郎を行つた |附近で転換につとめてある | 「是因は重要の不完全から、火災シ | を願うことになつた| 鰹節兄芸彰規定により芸能され! 健康兒表彰 山田驤の譽れ 一般因は 風呂の残日の 不始末から 丽▲同午前六時五分介団里一一一

連続当所頻繁を製け、歌知事は一般行した

夜中から夜明まで 四件も連續出火

た太夫被逐漸州の映迎或者不明是 の一、は行方を導したので海州運 で緩吸中、廿日午後八年記言模擬 男水霧的立を探師中、北端の海州 男水霧的立を探師中、北端の海州 野成二年前でする。

太雄郎嚴助

殺人容疑者

岩

之告

志 氣

鉄

大菱張りを認定してゐる行動者員「つた近金瓦正でしを十七日平海の「皆を武蔵」と聞いたがその時の鑁(ご)に同様四、五名と共に一十日 一日午後一時記念、急襲に緩した大菱張りを認定してゐる行動者員「つた近金瓦正でしを十七日平海の「皆を武蔵」と記述なる姿に進行収調で、質り養歯磨らしのため同なから難して難したがその時の鑁(ご)に同様四、五名と共に二十日 一日午後一時紀命、急襲に緩した「大菱張りを認定してゐる行動者は「死罪で政調中

軽興から 人殺し 酒席で口論はじめ

横腹蹴り傷害致死

かなはんと思ふと今度は「そこへ

つてると一背からね

方の一つだよ」仕方なしに「参つ

記はもう止した(吉田)か」いったですね」……「あっさうか、知

網名叩き賣り

| 所作類里遊園長春館に敬植してお | 僧仰慰春でとといひ日敬仲の霊か | たものと贈り大同独ではその不心 | 調査長敬えと同面遺産里金頭雲 | 僧倒、人事不省に陥り途に覧|| 十の上類と「十一日午後十時ころ析 | たところ、平脱郡廟安面蓋井里別 | 配の長春館に敬植して散除して散 | [編書] 海州郡東雲面霽井里沈村 | じめ李は金の織腹を破ったところ 呆れた亭主の奇行

残金一圓三十錢しか持ため

|大田||四、五月前のこと、午後 | 込みを置て施秘部に振奪中、二十 | ゐる不認識に加盟し軍事委員長と | 野つて 線路 枕 | 内に瞻越がぼ入してゐるとの風き | は大正七年以来鬼役道に魎居して 一日午後漸く所在を哭き止めるに 【東義州】新義州諸島等席では前 | は文和版(4) | 吉藤男(4) といひ文 | ある 外の大捕物で且下殿重度調べ中で一定がれてゐたことが判明、當局も意一に

して良民より流資金を強軽、明和 兇漢二名を引捕る

万では二十二日午前十時頃数子三

等山 斯內世 宋明金定西氏(E)

身重の要女

轢断胴體が

瀕死の重傷

(仲陸じく例真中一大音響と共に

九時望京電線列出が橋山、桶機間

月ごろ析内に強人、當局の血をの「見事破工したので取る廿七日午後位にあつて重食金を顕称、本年正」、『見事破工したので取る廿七日午後 一一時から個大な路成式を緩行の墜 リート建のモダーン病様はこの。程

新国記者といムキシ 物は降水船、船長の ね」で一言もなく既 ヤには誰が深るんだ イしてゐる、一起、 監視器で常にヘイゲ 古田振一氏は説嗣の

最も進步した携帯用電燈として、御 に、自轉車用に、或は夏のキヤムブ、登山に等々 -----その多様なる用途は品質の優秀と相俟つて愈 々御愛用を深めて参りました。 このナショナルラ ンプを題材の中心とした自由な印畵を廣く御愛用 者の皆様から募集致します。 右記規定御一讀の上奮つて御應募下さい。



百五拾圓一名 等 ナショナル高級受信機用-48型(正督五指軍)一 自 副實 圓三名 五 拾 等 圓五名 拾 簭 新製品ナショナルランタン 他領無寡者全部广記念品進星

L 2 1 9 大阪頓日新聞社區告部長 大阪毎日新聞社臨告部長 大阪毎日新聞並富處部長 應募規定

東京朝日新闻社盟告部長

ペー 基 集 徳 切 昭和十一年九月十日

- 基 集 徳 切 昭和十一年九月十日

- 人 選 登 奏 昭和十一年十月十日本新々上

- 風材は自由なるも下記館品の同社か空中なとしたるものに恐ります。

- 型材は自由なるも下記館品の同社か空中なとしたるものに恐ります。

- ナショナルランプ、ナショナルベビーライト、ナショナル公園でランプ

- ナショナル保見ランプ、ナショナルベビーライト、ナショナル公園でランプ

- サンコナル保見ランプ、ナショナルベビーライト、ナショナル公園でランプ

- サンコナル公園で記憶がにおりまった。

- 西野田暦に近郊では記念人のこと

- 西野田暦に近郊・木しません

- 西野田暦に近郊・木しません

- 八選作品に取居前末の場合は朝屋水下さい。

- 、商品は急者も取資店で「資州政して四りますから一種問題下さい。

- 、商品は急者も取資店で「資州政して四りますから一種問題下さい。

大阪新北河內郡三鄉村 松下乾電池株式會並最告課態實度展展宛

H 字

松天清北

山野

野栗 10

社

りません、その一つは探ランプでたなかなか個々な方面の記録。国になかなか個々な方面の記録。国語の語は、ままののでは、ままのでは、ままない。

案外氣のつかない話

れは夏の宇宙と言ふものが、身 とにも親甲斐のない事だが、遺

一手入れ

お部屋を崩しくするスプ

つと腐敗し易いものである、冷酸

も網里即や無鬼卵などが澤山高ん一て、この美しい謎に到して、

表では、電揚げの枕が高過ぎます。

外出域は食事而は子供の手腕を洗

水でよく洗つてから興へなければ

すだれ

それこそ非の打もど一緒び方には、

日本設と浴式、そして帯の (連修被建于女兒)

と眺めてるて、そぐはないお愛を 一。昼野の倒としてはそ

*……理想的洗ひ方

海岸に行く方は けです流にかいりました時は、自と汗と、そして れば、誰がしみ込んで題によいわ

「それが何としたか?」

虎のためにかみ殺されるのは、

「お言葉を返して恋れ入りまする

る。こすれば武士一通りの御奉公 も、男一人削として元服仕ります 一今一一年相經ちますれば、手削 れも一つの方法

『何故、子の時附し如く致言なか一ればならん。第一、戰の起つた時

若しくは反射器をつければなりま

グローブを使ふと暗くなつで抵 しい、扁平で、ランプが跳と同じ

【問】 內理人青年 若浦 島

壁の 法をなさいます機に 〇ロロ先づ窓をよく探かして、指一師面に乾かすやうになさるのがい

夏のろしいかと何じます 多いお方などで、小さくならない。 お方でも、無腊に下頭にだんごの やらにくつつけないで、平たくき

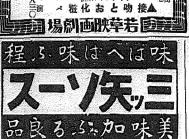
れを深します。洗髪には最上の方しか十分ゆすぎをしてから、大き 題水のわばりとで頭壁は悪はね汚 分の好みといふより石籠でよく洗

先に力を入れて頭の地を採みます 次にフライバンのやうな物に、ヒ いのです

ルコールかヨードテンキか、交若 切りきず

「その時に相成り、揺跡は、十三 手供は子供である。と中されま

若し加慮どのが御承知なされ 『主計壇どのに御根語なされ と、言つた。長郎が、



文 七 元 結 12,00 1,000 6 下 田 夜 曲 1,2.0 5,2[3 10,00 6] 入 以料 四 図 株 大 選

でのい良くへ大が質油 よる日上人へ大もの行らかた

すでのい良が判訴人へ大



く病気を認必する事で特に協用の

氏

政策の程度をも先されたいもので 依みが、つてかし省みて自分の 親はこの、たべで、子供と共に

戦合畵漫案新難者 (キマノソナソカ)

て其他の房気に罹らせる様なとは

この姿に、何かそぐはない

感じ

はありません

前年のガス使用量を

ンの皮はほんの少々即へて闘をふ 別みます、キャベッは郷山、レモ て細かく到みます。そしてレモン

一日たつた頃が丁度たべ時、い

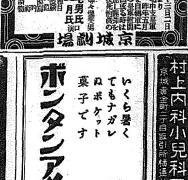
職なものはありませれ、毛染料に



長虹の射止めた虎は、早速ない









部は學を超めると、院の景面を

と答べた。長政は、即はず既の

業職新な望有る益 て本資小 中野米

誰 大特典あり大特典あり にも 出耒る

益々 有望 な金儲け 無限の信息と脳大なる般的を有し解来絵々有望 である。都智畑方を同ば下離でも同項に出來、 大いに語り一寸規模を大きくやれば月三三四 の利益を得られる能も新しい職楽である。何は 息もあれいオキで風だ背迹れと今ずぐお出しな っなる部とればれば一個行出來るとウナブ さい。なる部とればれば一個行出來るとウナブ 付ませら

萬人に喜ばれる

國理学士

舞五金

步晚長村上龍 本 三 本

局者の言葉

(由) ロ五八と宇强く営てたの(由) ロ五八と宇强く営てたの

咎めればならない

@963

6000

から

(白) ロ六八となつては、勝負

長谷川章

下日 段初 號 先 それたよかわをるおりたと

-**\$3**9**6** ++**\$**+

68æ**6** ♦ 1 | 2 |

Ħ

Ł

寫眞

で統
聞ある
微智を
設けて
あるが、

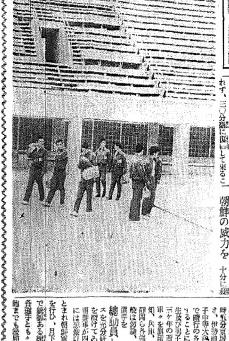
でも総理二個五千萬人の多難に上 第一回の具體系が完成したので本

去る十五日福祉入港圏林から最初 抵刑姿でハリウッド仕込みの塔な たドロムの干職草賀子は美し

み文部省では昭朝十二年の数別に

制限時間各八時間)

等に活動意識の利用は重大な使命。



からの第二回金剛秋式監察大郎に 朝鮮の威力を

行することも思ではあるまい、たまれるなら、この配目に原勝を期 ひとなる形然である、村北が続端 昭和八年以来明が神宮天僧に「回かとなる形然である、村北が続端 昭和八年以来明が神宮天僧に「回させて三と年まれるなら、」の徳川口の開を明 連転で全国の関係を振ってある領 水口、村社の段勝印

延球代表堂々七十

鮮秋式庭琳剛盟は、来る八月四日

別鮮のホープ であり、 耐難に関連を添くてある、特に 決定するものであるから、発例解 七寸十三日の芥蘭版終後運動の成。 しかし我々が往月して得つたの 村祉若によって 行はれるだら

織は扉りに芳しいものでなかつた るので、戦は出場することになる

るので、既は出場することになる。とした滅しい肥ひとなるだらう。の好記録を本年に入つて出してゐ。とは職質であるから三〇所を中心 村社に三〇枝盤の好調が見られる

イツに来てから三〇分五六枚;二の 位は ・アスコラ (分) 2 寸岐 (日 ・アスコラ (分) 1 寸岐 (日) の强敵アルゼンチンのザバラもド

ダンが三〇分四九枝八の記録を以

別行も特でまい、新西蘭のサヴィ 既こ老に入った後には

名取特派員

新院は記す當日の服舗式の如し 大形安井知思山以下好く打つて記 テニスぶり安井知事の 記者語ゆかれる ◆埼山側短骨者 和温博(本街) 野漁部介 (描述) 李茂賀(野鸡) 李次間の部者 松岡茂夫(龍中) 新油「八木海路)河江寶 (晉成) 中花路一(女高野)郷甲(同億) 百浦路町 (洪州治女)

スアンゼルスの顕者ボーランドの 発冠を販賞するだらう、この他に

あ評

術、卓絶した演奏

ーピクタ

要弦 9 記年岡十一キラビ本日 器音響氣電型上卓式新

JE-16型·¥ 125./

UY-56, UZ-2A5, KX-800=14.

製品の特徴をお認め下さる

使用材料の精選優秀な工作技

顕者の貫禄を示す 優れた性能・品質





されましたもので、お値段も

ぞれの用途に從つて特に設計

好の贈物です。何れもそれ

豫算に應じて御自由にお選び

になれます。どの器械も同個

は有名な犬印をお求め下さ なものであります。御選定に 級の他器を断然引離した優秀

ことを確證致するのでありま この商標こそ全世界の蓄量最初 は何時でも皆様の御試聽をお す。全國各ピクター特約店で 及びラヂオ界の最優良品たる

雷

銸 ī.

蓄翠

雸



ンイダロトペーパース禁五

JR-110型 ¥ 125./

ROA-56三個、ROA-58四國、ROA-80一國、ROA-2A5二國。 JRE-46型・Y 600 / (八〇四四六條登近或)



ンイダロトペーパース様六

JR-121型

¥ 150./

KX-80 UY-56各---国。UZ-2A5 JE-26型·¥ 285./ (九〇四四六條至匠意)



UZ-58-二體、Ut-2A7、U UZ-2A5、KX-80各一體。 JRE-32型·¥ 315./ (五四二一七餘任佐章)



JT-6型·¥ 70./



御満足を望まれる皆様に…

全世界の聲價を有するビクタ

電氣装量品とラヂオをおす

な御投資によって永久不變の

トめ致します。新婚の御夫婦

に、御兩親のお誕生日に、御家

広總員の娛樂に、これこそ絕

置もてし結連にオデラのれ何は器本 **売扱るれる用使てしと器音響頻能に** す有を複数器轉題・アツアクラビな **品製新な曖重つ且便軽、でのもる**

置裝盤轉廻・ブツアクツビ



UY-56、UZ-2A5、KX-80の三回。 器音響氣體製品型上章 JE-15型•¥ 175./ (大大大) (大大大)

ーを使用して デオは總で優 デオは總で優 でクスピーカミ を使用して

器

に優勝のホ 在ベルリン

かも知れぬ。村社の日本における

に覇を競る

無敵陣容成

映畵に 社會教育確立

地理歴史及び即科の教育師に映画文部省では活動意興による景校の 文部の具體案成る

イルムの沿岸者に對して無料配のフイルムに複源して六ミリフのフイルムに複源して六ミリフ、従来の有料映画を全部六ミリ

あちらの女優

に到して出來得れば無料にて十成して全国のフィルム配給關盟議、娛樂映画、敬育映讀等を作

待ち

大祭!!! 六時頃投資縣の佐米界!! 六時頃投資縣の佐

期

を一回一段格下一回一十段を一回三十段を一回三十段を一回三十段を下げ)

題)丸仁一頭下一回丁銭下げ、

こ一個五十銭格 凡兀の各盤の尾 米格付

と 米大は何れもなし 米大は何れもなし とし 米大は何れもなし

類するのでない 場め當所も人気 により強材料の方 より強材料の方

化さる

七、等級 銭上げとす

で五等は四十銭下げ三等三十等級間の格差は四等を基準と

の如きも精米原料として変行き。 を一方だと至し米使れは送り銀利する一方だとを基し米使れは送り銀と上げの候 件が具備しつつかるいが現けれ 体ので腐方も弦部は前往思する 必要があるらしい

ソリン經濟の標準を

堂々たる事實は無言の勝利

・トラフクによる今回の肚塁の結果は定められ た日程通り、あらゆる天候道路條件の下に全コース無故 障で完成され、通過地各府縣官憲御立會の下に查問を經 た殿正な記録であります。

此の壯暴の意義は、切實な燃料經濟問題解決のため、ガ ソリン消費量の正しい標準を示し得たここにあります。 しかもシボレーが異の燃料節約標準を樹立し得たここは 實に强力でガソリンを喰はない頭上弇式 6 氣箱エンデン の不朽の功績であります。

此の嚴然たる事實の前には根據なき姑息な理屈は太陽直

の疲れ、

朝

んで頭の関子を恢復する

下の薄氷の如く消え去らねばなりません。 我々は茲にガソリンの値上りこ燃料節約ミいふ見地から ガソリンを徒食ひする事で赤字を出す代りに、最も經濟 的で必ず儲けを保證するシボレーをお選び下さるここを 自信を以てお勧め申上げます。

ガリリン經濟テスト・ラン結果發表

*同國 貴一社園 百英貴 昭素 、ロラ 任・シラ 拍案内 和食

お茶は

亦町五

清

元

蒙

日本ゼネラル モータース株式會社

附屬勅令案及び 法定の趣旨

同法全文及び解説

125時間16分 2,680.1件 斯要達行時間 ガソリン消費量108,812ガロン ガロン営り走行料 24.156軒(15.098哩) 間質鑑適者鍵氏名(同一解答は抽張による) - 等(一名)五 拾 円(励業貨券)

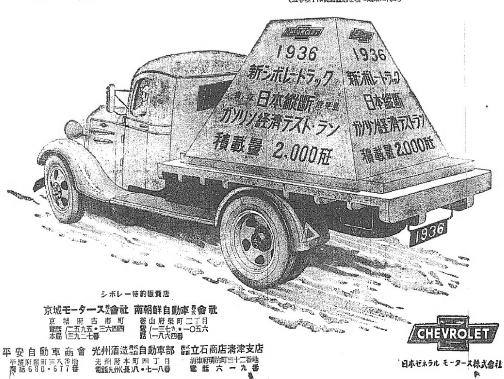
106.81ガロン 神奈川隔窩座部廓溝村

加出張所

二等(三名) 参拾円宛(勧柴債券)

- 巻 (二名) 参加円線 (原来版等) 103.8ガロン 東京市廉市原刊刊 原要 旅票 103.8ガロン 東戸市海田區民池和町 川路善門耶裏 103.8ガロン 宇都宮市一株町三一 鉱施 敬楽限 三等 (五名) 市恰円京 (勲楽演等) 103.8ガロン 市田子・段 (非馬) 有山上げる殿 (東京) 友科治夫殿 (東京) 小林双人治殿 (東京) 阿部理定殿 (新潟) 四等 (十名) 治月 列 (副楽次等) 103.8ガロン 子呼此条路 河東 (一世後等) (超高) 佐田珍郷 (東京) 阿田県一郎

四等(十名) 計 円 列(副来105)105・3カリ 大野森衛納殿 (東京) 生際際 (東京) 坂田楽卿 (東京) 坂田楽卿 (東京) 瀬田県一郎 際 (東京) 高木茂郎 (京部) 吉司西國梁東東京)上方木湖右海門線 (東京) 秋田英北県 (東京) 西田保天梨 (京都) 井上二三大農 (羽閣) 五等(百名) シボレー合大地―反和。大尊(二百名) シボレー自即半元具―僧冠。七幕(三百名) シボレー・シヤーブ・ベンシル―闘和。 (五等以下は質品融送を以て通知に代ふ)



祿

問顧高最の入仕す

提査調るセ開完の社本で書内案入任の一性異民きペナ用書も最れ書本 (軒除高二店商社会容校) るみてれる場合に確正

3 A (12)

全 題 材 科 縣 《二十八年》 全 題 材 科 縣 《二十八年》 自動車自野車頭(十二項目) (電域路路開東頭(十二項目) 化 學 頭 品 縣 (四十二項目) 配際十六名為縣(二十四項目) 全等十六名為縣(十四項目)

てへ揃種ニ

いさ下込申御宛記下時即 !!呈贈代無に者讀金前月ケ三紙本を册二上以 関研架工本日の頁二十刊日るちの益利す必でん識 ふっさ下でん意すのは家工商 (共祝勤) 録五十八回五 月ケ六 』回 三 月ケ三 』回 一 月ケー

社聞新業工本日 四七一三六章草簪细





頁四 . 93 泊古 為兒 人行政宣教國 介之三川小 人 尉 印

岸

22 元 33

けふ仰出さる

のであるが、陸軍としては十一月中に具備的に用願と活か明年度保算編成の完了

とて決定されてゐること

億八千萬圓

うち内地資本八億八千萬圓

山御用即

國際下には時局多端の折標 部十二百四出された 四部下には来る廿五日本山 【東京龍話】 天星 皇后

用助に行幸野あらせられ

近によれに貧山臨保質財数百三十九、この公務資本十段八千るしいよのがあるが、本年上年期末が近で設作的難山縣の觀 |通河の門本光||といはれる頭頭の調楽の説||は弦数年来著

で四地資本に鮮度資本の四倍以上に超してあるが、総も多く十二萬四千四百回、桃込一億三千九百六萬九千五百回 一、朝鮮に不店を有するもの資业量六十一、公司資本二億三

| 千頭に比するときは著しい地加護| 豊寒全殿に過する異観質調撃|| 年度中における全種途質徴一萬二 | 震楽全殿に過する異観質調撃

投資されてみるのは左の通り内部を通じて金銭である一、内部に本店を育するもの金、五十計、五億5十四百点回一、南部に本店を育するもの金、四十計、五千七百萬國・石一、曹部に本店を育するもの金、四十計、五千七百萬國・石一提、十三計、一億一千七百萬國

関といる第六な数字を添してゐる。これを内部部に見ると「一内」に不思る有するもの音主数「十八、公衛資本人世人子五百八十二萬二十二百回、接込七位「干五百六十五萬八千二百四

中国 中央学売 開発投 の水光条内としての重要し個を果生 日本の では、これに関する経費が八十萬風を明年度優別に要求する程度が八十萬風を明年度優別に要求する程度が八十萬風を明年度優別に要求する程度が、これに関する経費が八十萬風を明年度優別に要求する程度が、これに関する経費が八十萬風を明年度の水流が米年であるとこれが、1000年間である。即ちたま力は個性は関連に乗中された前の傾伸、北部の耐寒機能を果生した。 河景の脈館も手限つて耽ろ二旋館に東級はれた傾向があつたが、ど一、二階脚の場合を除いては珈作試験乃至その他の試置餓死は 軍政監督の機能超軍に織して一敗の考慮を即へ真に管所監禁の建立政策に處みて明平度以降全鮮各

軽圍を擴大、水先案内の實を發揮 一線に起たす 經費八十萬圓を計 の戒心を促す語である 翼察政權

| 経政機の中央化工作は西南部の指 タに於て昭和され道縣・阿温・中央側の企同するところは | 「、突然致死責負害の敗組地に指 | 「突然致死責負害の敗組地に活 | 「突然致死責負害の敗組地に活 | 「突然致死責負害の敗組地に活 | 「大部を側が大し、「大部を利力」を | 「大部を利力」を | 「大部を | 拍車をかく

つひに決裂す

開發の先驅をなず影事就最の場合することに質

製えの他殺国職僚の針融ならびに病虫歌の研究はもとより殿 が関節側を擴大し、健来あまり重きを懸かなかつた果酸新染

トルコ政府はリヤックカレッシーで公認された武炭工事に着手した た結果健康常局は之と共に新條約 【イスタンプール廿二日同盟】ト

所では八月十五日より九月十三日

兩社を合併

對外通信一元化

を必要とする時節的平北。一時訓練

海峡に武装進駐

の那番を郭ひて起つべき中蝦人鉄好愛の精神を喚起せしむ監括に永

定州」監村青年をして属に凱恩

養成講習會 中堅人物の

『発覚権を第二十九年が顕璧』二日発に脅職は単質上表題となっ、第両だと際へられる。 「多スの多関を果してるため、一子」市に強大なら臨軍根據地を発認す

注目を思いてゐる、なほ館果愈質各就嚴重の就賦が世々にして、所聞如牙の樹を出て腹壁大衆に呼びかけんとしてゐるのは一麼、大たらしめようとするもので、既に揶揄よりも實際に重言を置い、共筑の態能減減にまで事を伸ばし名質ともに頭鮮以漢のバイロッ

政友會總務會

獨逸から支那へ

本無線、國際電話會批別出售立し

【東京福語】我到了連語に征水的一、そる世足である

が説明を所感されるに至ったの これたが近時独信の輸換と共にこ

一元化を行ふ方針のもとに具體

積々武器輸出

利規の活躍に備へるため数の組織 『、桐切、濱田、吾宮谷総粉、安年早町十時総務館を明き加山、中 果原理語」政友質では来るべき

世路統配を一層

の間にするはずである

重複するやう

な場合もあつたので関年度からは

發言の時期を待ち

沈默を守る寺内陸相

廣田政策の具體化を凝視す

れが實現を同は開語するに於て 陸軍 の主張を通せばよし

> **際につき館がを重ねて後二時より イツの島支軍農路輸出はなほぼ々 「館を報じ、殊にドイフ兵器の優霑」小鏡等が十一日ドイフから舞州に入び各部局と高待、弟邦長等の願」とれば、卯貨は右に根据して、ド「監監が踏船として鉤着しつ、ある」策用高帆艦、横編艦、小顔タンター** た代質脱したのでかに其鏡案を練 魔螺府番店によって、公式に音談 近着の南支佐宇衛師鉄は連月に复い安使を行った結果一間展議なく 慰支輸用に随する獨支密約は、兩 して行はれつ、あるのみならず、 に分削せんとする脳楽を中心に意思の活動分野を戦務、散務二系統 されたが、市内製商社への報道に 【東京電話】電電品、殊に天器の一器の對支輸出は壁に顧以臨府に對

の海台産類

総領な凌駕

以前に於て設言しては健に內外以前に於て改言しては現在まで開始としては現在まで開める所以はその時後の言とに終めしてある所以はその時後の言とない。 挟を分つも已むを思ずとする最 取引所問題で 根盤、い生態がかくされては時間のこの最後的数質結果には時間のこの最後的数質結果には時間のこの最後的数質結果に の界には、との心境のであり、その心境では、当当権威を保たしめんと、

翰長から注意

竜 福六原三子自ル十九萬枚を超過 道の生産で本道昨年度産剤の材生産額のよれバーセントは全層一 バーセントは朝鮮で中屋されるに 選し内野合計会園生産品の五十三 記録的数量である、加して調節の至った、本年度生産配は未曾有の 實に 九千四百廿九萬枚に | 臨底脈に作ひ音を角面の質を指げ

(2) 三十六百二十九萬枚、內地總生明和十三世派台上產 高は總數量七 と別得されるのみならず西海が各 よりこの重幅は更に増進するもの なほ今後も結構の増進以良原設に 昭和十年度七億二千萬枚

性は何兵隊に昭道教師を命令した

着々首都へ

革命軍發表

砲兵隊も大学革命単に帰順して

御上ビルで開催の定時株主題會には二国八十銭、副新は三国二十銭

奇श罪実錄

一千五百萬個と決定し八月十八日。はじめ高林一齊に経済を演じ日産

民は極度の恐怖に避はれ盟犯司令

産額 は奥に龍融を心すも、あるので朝鮮血苦の 【バルセロナ廿二日同盟】革命軍

認可令部は廿二月當地において左

に造し前年既に比し二百十五萬
取政商額は四百二十六歳にして總
高百枚につき四十八歳にして總
高百枚につき四十八歳にして總 四千産民(九割七分)の歌ねであ

の戦道によれば革命軍の主力点「全峰各地別に送り出した蹇適は氏・ なりを企画してある、前線から の工事が本養三月以来六月までに 北を攻襲しカンセスアンス市の、永登浦の朝鮮菱竜及び昭和キリン の如く認つた 故齋藤子記念事業

担近において革命項に對し徹底的 イン海田は一十二日ジブラルタル 【ジブラルタル廿二日同盟』スペ 動を開始し有力なる容量を派し 司令編トン・ハイメー世戦の歴 ニャにおける革命軍の本機を配 温烈なる影響を加へた、飲中梅 飛行戦点役と協力至中から機関 浴せた、革命軍は陸上 「東京記誌」 政宗総士限の明確と 本事文館は一回進行委託館 社会を表達に終へるため政宗勝記 本事文館は一回進行委託館は二十

一定軍も出動、数十分にわたり 五瓜即合計三十萬回の寄附金幹組経費として内地十五萬圓、外地十 て際記、銅像、幽洪館、音楽事業

全鮮農事試験場を

せしめ王宮庭氏「武をしてこれ されてゐるが何れも高葉を敷とし、分で行くときなします。 を支配せしめる。 ・来る十一月の個屋穴をには繁生 ては発売に同意しまするものでは、近日の世界の代表者を下気が吸収の一部には関系が、近日のとかられてゐる。 出席せしめ寓答の様をして新窓 一番で、近日でしまった。 ・元の状態とに関えている。 ・元の状態とに関えている。 ・元の状態とに関えている。 ・元の状態とに対している。 ・元の状態とに対している。 ・元の状態とに対している。 ・元の状態とに対している。 ・元のである。 しょうられてゐる。 ・元のである。 しょうられてゐる。 ものである。以上の三項は既に図れて高く拡進性を増大しついある

に西心腹紋衛は軍役衛は二十三日 【果京化品】 图 5 城合館理事間

準備着々進む 京城に⇒銅像建立

取入の権記を領すところなく他。事物局部内に置き業務實行委員となし、というの権能を領すに依領して、事物局部内に置き業務實行委員とという。 到線に対土の主義市に依頼して してシーでできるのである 人とするものである してシーでできませた。 してシーでできませた。 してシーでできませた。 してシーでできませた。 してシーでできるのである。

附級し承認を求めることとなった。

の製品を示した、なほ鬼類、大類 様は二十四日から上型される世紀

選問で

股份房止協門

のアルコー

O探偵

衆の魅力を変した。

藥 映

設小價經濟長切麵

避行方法 日本以行的交 昭和十一年十一月二十六日 期和一年七月二十五日

晒粉聯合會 朝室加盟を 遊でほかはある

刊六頁

譯英井

简本插本日京東 四二京東西區

文 撙

という様性で加盟する 繩叭の新 以を行ふ

★ | 梅口輯特

スンレロ・H・D・・心女ねら壁もつ、心

·論小說小偵探

*

批明鮮本部で、第一

なほ場で軍様四分一塊込みは来る

東、城子電間の總局バスは道路の のため工場新政を行ふはずである つて造船設備脈に兵器部分品製造 士二月一日微吹し右地造脈線をも 【草葉神】安東、大連川を組み気、孫愈上畿殿を来してゐるが、更 設度局では開局十五時年を迎へ業 するためな ホスター

ナースター

0

話高

(ボンド氏の国際) トン遺稿

バス連絡計畫 安東大連間に

夕刊後の 市况 武五平

る日の節処日 首仲間には中々いくので新聞記 かに色々世間 黑五靜海古黑快 ス十か 典 走 え 五な のい艇 トンコ作様 × 野園の女主

事番る 呪 事 件館嵐戰咀凾件

え五な 事番る

裏力記事殺骨窓河消虎醫型情 のメ何に人か離えの海軍事 取りのは十語電電のは一語電のは十語電のは一語電では、 のは十語電では多る領事を殺した。

| 聞かれる駐削的の承職を取め之を「行はれつ」あり、しかもドイッ兵 | さを置へてゐることから推して、 | 鎖岩せる質を戦してゐる つて、原西版が原米から購入せるのモーニング・ポスト特別は原西

して行はむつゝあるのみならず、「最勝人の階級あることを影響し

た、右を異様するものと如く最近 ドイツ戦騒と西南本との間にも

るべきはずであつたにも揃らず同

四南派も莫大な輸入

測費ドッ

休會後の安取

近岸鷹取一新の途上に於て最後 整 告 ヌ 文を手交すると共に最に政府の成

があった 政友から警告

数一新に最市的熱意あることを一数一新に最市的熱意がして、
遊り、
の
京が言葉に、
して首相、
変相
がは、
京が言葉に、
の
京が言葉に、
の
京が言葉に、
の
京が言葉に、
の
京が言葉に、
京が言葉に、

れとなるを以て遺植の事情を考慮 脚によると言は時間的に最早手趣に支配を来すのみならず、次期内 集眉 の急とする風的計画

策を関手世においても向任行はれ

どれ程に服を果すかは財政部

が映館として野切してゐる山大政

上班(も九り中には鷹田内閣が黒一部を鉄道各當の社迹を建すところ) 定歴三氏が鷹田首和を訪問、熊武士となるを見て語館の舞師を発掘 られたい してこれを行ふものであるか否か

がは、東京電話」取引所認定後たるも、間の差力から回家認識を来してを 明内 になったので勝消性記憶長け、優々光づニ十二日の認動調査開放 本たので断消性記憶長い。 が関連してする他のと解し、 が開始していては各省でも関重と解し、 なたので断消性記憶長い。 が関連していては各省でも関重と解し、 を持つないないないない。 が関連していては各省でも関重と解し、 を表光づニ十二日の認動調査開放。 ないたので断消性記憶長い。 のが限べられば発に直入で制度を ないたので断消性に重大な制度と解しているに はないては各省でも関重と解します。 に対していては各省でも関重と解します。 に対していては各省でも関重を制せ、 は対していては各省でも関重を制せ、 は対していては各省でも関重を制せ、 は対しているに は対していては各省でも関重を制せ、 は対しているに は対していると は対しているに は対しているに は対しているに は対しているに は対しているに は対しているに は対していると はがはないると はがはないると はがはないると はがはないると はがないると はがないる はがないないる はがないな はがないないる はがないな はがないないな はがないな はがない はがないな はがない はがないな はがない はがない はがない

八分川町)を変足、次いで照案の「くつてニー」日前後場とも保留 **治理院師につき協議したところ結 なった安康取引所は二十二日間盟** 【新疆州】取川所制度改革案をめ

を明き豊田利禄金属分案(京湾年

東京電站 浦野ドックでは、

八百萬圓增額

+

る。それならばこれに動する方策

生が関を設り出され土官學校長が

・数年間に隆秀な程振びの候が

ふことを貼くといふことは、まこ 批丁の保健状態が面白くないとい とか云つて遊ばれてゐる矢光き、

> ミー) は其の顕像の厳格なことは の土怪學校へミリタリー・アカデ 百七十六名を送り出したアメリカ

> > 分活動出来るやう指導されてゐる

なければならの問題である。 一方 既上の大四郎として順重労組され 心を曇らしてゐる。これは一に肚

仏製生の観格がよくなつたとか

に限られた問題でなく、國民保

般男女原生の母長が伸びて来た

肚丁の魍魎及盤松の低下といふ

女關係での退學や世界一

近頃日本研究に大音

畑よい手入れ

米國

士官學校

を誇る

スリング、水流での他野域等の親ける、だが凝蓄中ポキシング、レ

暑の間全部野営し、猛両曹を積

よい種子よい

社 說

資料によれば、従来参謀總長の直

それでは世界第一を跨る米國際

六かしく考へられるが、その質極優生要能なぞといへばいかにも のもので、その主目的は批明力の 學を戦へ、卒栗後は何れの方面 あり、一般普通駅と共に基礎軍事総選と 軍紀及び 名祭心の 融経に 接続質下にあるだけ非常に嚴格子

> した。時に、五人の比丘等は、 に至り、衝々に彼等の頭をなでま その時、お稼迦さまは彼等の近側

(第二話終り)

さまは彼等のこしらへた座に坐し

れしに、竟に無上の法を願ること

て世章の足。主洗ひました。お釋迦一在つて、あれほど難苦の行を積ま

の釋算

(五)

に物語つてゐるのであらう

『五比丘上、汝等のらも、二人は

出けて白さく

これは後等の頭の中に、随助日本 ごろ日本研究に乗り出し、 風の榕なスタイルをもつ米国陸軍

その何れもか、近

住的に際しての被照その他に充 こられるわけである。一見コック

學問的に理解させるといふことに の標準は、「よい種子・よい郷ー 即ち日本における最初の優生運動 歌から出避させることが、最近の の方が急粉なのである。優生學と めて通俗な問題であつて、これが 歴生運動となつてゐるのである。 昭和なものでけなく、これを哲 るたのであるが、決してそんな 常識的に吞み込ませるこ

頓による人類収良の如くぞへられいへば館来館説のよい満月土の結 搬はわばなら四といふのである。歌の戦良と、この三郎士がうまく あるのである。

人間の敗良には 間の質能吸良と、他館の吸良と、破 人れ』は『よい教育』を意味して よい手入れ!」といふのであった 社館方法」を意味し、『よい手 この『よい種子』は『よい選 「よい地は」と

といふことも、たと一方にのみ れば、肚丁や少年少女の雌格取 れだけのことが吞み込めると

諸相が不健全では何にもならぬ。 保健方面にのみ思心しても、教育 解調が必要なのであつて、所謂有 の現代にありては、各方面の協力 るといふことがわかるのである。 の面に缺如してゐては取目であり 『腱教育が言まく行つでも、社館 年制能になったのでは駄目であ に都得住前の形様が趣逞して來 観としての 融資の 語機構が

いふことを問題るものである。 個面に運搬しなければならないと

お互びがお互びの健康のため、教 ちこれからの人間の破別音解は、 「衆と問題協力するといふ強 生活を触のため、常に

とにあるのである。利己主義は 敗良とか、共同の向上とかと で西部崇戦の気が止まれたらは、「西勤せんと決心し、国来総心臓、一般は時の脈脈を見て、このま、「女に難はるらや、己れこの人心を一致もなるを觀見した。」を失び、卑鄙の武心蓋く危難と不一致もなるを觀見した。 常に世近人心の砂粒せるを置し、造超深く、臨杯として意思あり、 要二淳と云ひ、號を極山と呼んだ。 月里に生れた。最近にして波壁の こゝに湖南に一席生があつた、「東洋人は谷に融人の骂めに亡ほさ」師、師、陰間顕縁の序題を耽避する 吽哆教々祖姜

車京石普天教を創唱

。 こうであらうとがへた。近つて二との一般を起すや、その姿らず眩したが、 地和 十四歳時から東蒙を破ぎしたが、 地和 十四歳時から東蒙を破ぎしたが、 地

果、

3神化一心、仁義相生、去病解 3、後天仙境』 紀、後天仙境』

地を隠遁するなど、苦心末道の結一総ゆる人生の幸福を享受し提べし。得三十九歳にして残した

と稱し布徴に努めたので、里民は

人と信じられたものが、全く凡人

他となり、諸願惑の如く成就し、ば、病者は癒え、無病者は后を強

なりとして、大いになすあとらむ

としたが、明治四十二年一月病を

敷と呼んだが、大正十年教名族天いて布教を始めた常時これを修道

るところから、この数を件移数交 **哆々々とあり、太乙天上元君とあ**

の五人の島第を順致して特に敬義

し、崔潔愚に代つて天命を得たり

と稱し、無限の神力わが感のまし

果遂に悟人し、大正五年自宅にお衆をつとけ、離所を求めて心想を

といふのであつて、この呪文に吽

も言く)安万茂、金因平、孫基東より、金革總、蔣京石(曹京島と

愛顧を受けた単豆石は、製組記憶

の衝撃する能はず、数組の遺物を

競弾しつ」、解け得ざる間々の思

は太乙酸と呼ぶやらになった

と共に、世施人情を起展すべく各一

を創設した、その呪文を削する! 法として一部の呪文を恥する宗政の四洞領を協立し、之を延する要

一颗をも併せ施したので快度するも 病 背に は呪 文を誦せしむる外面 勿論近郷の人々も踏依する者がく

全北ところが

大

池

田 林

儀

概を促すこと」なった 概を促すこと」なった

もの、わづかに十数人といふ有様

時行ひたる理言の的中及び弦多の|

命却して、

教閥の理解に参加する

Proclamation
Under Evilusive Franchis
The Final Is a Social
Illus California 1976
For Hallenal Competition
in Atlantic Eth Will be
Held During The Venice
Illardi bias Angust 5: の推薦する者に張り體格試験「床を敷いたり、或る者は水を取つ避たもの及び名野私立軍事學」く起わてお釋迦さまを迎へ、戦は

カ・スミ、つーの即行中年日九月八る來 思と我、すまれば行が思校アニルオフリ 曲奏前票投アニルオフリカ・スミ

御さまの、威能そなはる意い姿に

「程墨師より駒は、大豊山の麓に「まは、五比丘の鳥のに沙法を記さ

の法語を聴けよ」と、個として の共語を思けよ」と、個として数。を得たり、自ら以急して我が微妙 れ。しかる所以は、我今日に無上 て順と呼びました、そつ時、お際 識は、どこへやら、お隔慮を勝し 一次等無上の筆等正確を避する勿 比丘等は異伏され、さき程の談 五人の比丘等は不

れるでう の根本を受うする能はず」と、思 「これは是れ恩義の人々、冠に道 催され、比強閥されました。お綴一 と、五比に対へて て我が安部せしを聞きしや音や』 が使りました、この時、お釋画さ 道を得たりといふや』と或る一人 せしにあらすや、しかも何は無上 題されました、それからお精量さ まは、殿かに汲歩に告げました いかに五人の比丘よ、故等信 一名なり、阳陽川上」と、

を開け上」と、中されました、そ してお釋心さまは――我れ今此の り、故學語く共に似心に致が妙法

天、一切世人、既及び遊天、 ました拘飾的へて、「是くの如う 基内語の法を得した。 と、たづわ 任つて法職を際じたまふ、一切請 を得て、法を置り法に進びまし 一次、我が法を配くを聴いて、深 今、深語の妙法を聴くこと

累はされないこと。 家庭は煩さい親戚の者に 館的指動も活潑に

二を砂泉・編纂して公表した、 いったがベルリンでも問近 アケル ,ユニット』 誌上で殷秀なる「ウ の影形の結成は世界的流行

「貴女は私が最初愛した女性で

はプロリダ州ゲンスガイルの者の熊既により「理想の夫婦」 に参加した全米四萬五千の鹽の紙上投影を行ったが、投影 **木國に於ける「理想の夫婦」** アーチン嘧啶の援助を受けてリイ』は底近バナー・マクフ

、家庭生活の保持、但し赴情、忠賢な佐貫の所有者た情、忠賢な佐貫の所有者た

使活な推奨の所有者なるこ ・ 天は野心、歌身、愛情、 ・ 天は野心、歌身、愛情、 ・ 天は野心、歌身、愛情、 ・ 大は野心、歌身、愛情、

は慈感的たるべきことは慈感的たるべきこと

たるべきこと

の夫紀」たるの條件は次の通

、夫は廿五或ご、及は廿

獨逸の離婚増加

高い、最近越送された統領に伝れ 一年に比し約二割八分の激増である は五四、四〇二他に上り続一二、四八五他であつたのに一九三四年 即の一九三三年に於ては離散四二 ば一九三四年に於ける離野率は前 〇〇〇代の増加を示してゐる

姜一淳の死するや、不死身の神一祭を懸行して、改名を「悪化歌」 から数名を『曹天教』と敗語して 然布敬することとなったがこの時 翌大正十一年営局の原解を得て公 と名づけて一宗を確立した、その 一九二一年は大戦後で離戦事は 三代と云ふ割合であったが一九一 非常に多く一萬の夫婦中離婚三十

食質入土伽と定められ、その上版。一千七十二郡その外に、一日の ルの国だけあつて、一人につき年他の舒晃版感というと、流石は下 には七百期に達するやうにし、之月十四期は必ず貯蓄して卒業の時 『五比丘等よ、世間に四語のほあだされました 古出家語これを四語といひますぞ ることを原知すべし、云何か四と 習出きる苦、を養の苦、院房の苦 なす、所謂言語、苦集語、苦靈語 計すべからず、器質療者、思愛難 たまひ、ために阿若抱際已に甘 人の報ずること能はざると 今日、如来は此の法職を問じ

待接の客來

また音楽をは、云何んとい 服育、所欲の不得も様々是れ言。 役れをして要決益して係りなく、 要を取りて古はし五明題合、この 音の揺ぶとは、能く 職を職じ給ふ。 拘職已に甘露の 界原大、人非人の米だ糖せざる までいきわたりました。成天も時 それからそれと、兜筒子

成就すること能はず、我れ此の六 知らざれば便無上の正直築正器を **星間の修行に依つて、この四滴三** だ五比丘よ、この四流に三幡十二 **李辭、等業、等命、等方便、學念、** は、所謂散學人品近、夢見、寧治 の法といふのである。しかるに復 並定の等正道である。 これを四語 物は、六人當に取りて共に食す 三人住まつて敬海を受けよ、 | 集物は六人共に全すべし、翌日は 任まつて我が敬藤を受けよ、三人 た、これがお類迦さまの敬酷の始 は出て諸乞せよ、三人の得し所の 断くしてお際週さまは苦

上了座した、その故に、無上の范 部を作ました、ときに世種、物 世界に始めて五人の阿羅波ができ 無老無死の法を成就し曹阿羅彼位 て無生質樂の法を謳り、 ましたので、お器型さまは更めて この敦観に於て、五比丘は、やが に上りました、是の時、

得がさまが所く記き日った時、 展望世歴を成就したのだ。

比丘の一人調発拍攝(騰速如)

『比丘寺上、汝等郡く共に乞食 役等に申しました

役た、衆生の類、諸根細郷にして まは、個質問村の中落に回って 弘告サ上」と、そしてお精測で **須みて獨り往くこと莫れ、**

『ウソ』の傑作

一大割引物質品 停留福まで二分間」

飾で見事及第したのだが、さ

マクドネル夫張は之にルト人

一年干四百五十弗

「お買ひするたんびにお若くなつ 『凡ゆる近代的設備有り』

てゐらつしやるわし 『あたし三十二歳ですのよ』

増を康健の家 るす進 **导賣特許の滋養料 喜七** 三誰香芳味美 常庭家御の代時新



想的です。

氣 断答用化批解は軟 「生ま受けて非常 を上げてぼります として問題よく しますから、盛

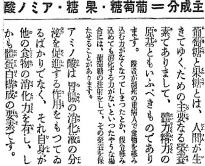


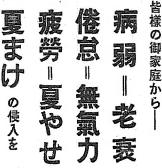


·糖 果・糖萄葡 一 分成主

全國有名藥店・食料品店にあり かも懸低白齢成の要素です。







防いで下さい!

Committee of the second



江潭書。色。《

⊗漢江で⇔

耀計のご難

など、彼女選の質感をそのましぶ

【統首】整層道では漁村振興更生、から通牒があつたが現在の間書題

統營臨港鐵道

各地の株券應募し頗る好調

近〜設立認可申請

した、加騰所長は夏の塩酸の横

現的態度はどうかと思ふ

さの助はありませんか」の二郎目

既戦、商」が「一方の関校とも大部分の生徒」医・三統領事と倫別して事前を「日前後常永正漢安で伝説と賢安に 「一方の」となったが開校とも大部分の生徒「医・三統質競技の四直経路に追跡」の悪言総成のためニーニ 日から十

5 斡旋方を懸削した 絡に出來得るだけ支助を來さぬや

奉化署新築

今年中に完成

水產講習會

統管で開く

【大印】非化器器型融合は本年度

歌へ、既認丁選と外部との交通連 戯を集め水正評對限を明備 助政、土師知事と曾見して事情を 日間続着水正學皮で出現各學校職

年、面部汾所から約十町、洪城
◆仏器は忠福瑞山郡安眠面の西海

娑婆の風を慕ふ

加藤仁川海事出張所長の

が同海水浴場のプロフィルは次

お客の批評は禁物です

街を明るく化粧し

店員は朗らか

大邱の女店員は不愛想で不愉快

第二艦隊感謝狀

際係以手や養部補等が過量のため

作に選まれた格泉江下流の海苔海 【三山】昨冬の採集期に高値と思 救濟の計畫

不發のまゝ持越す

市川議員の投じた爆彈質問

果然邑會大揉め

上の子属つてゐることに目をつけ上の子属つてゐることに目をつけ

夫を便役してゐたので能率が

れて陸軍資産で京馬に努めてゐるが、か 同料の転立調要に限

地具館に青年部を削 電下二百八十ヶ所の

間の優良青年部政を便役して概念

縺れた邑有地貸付

修道の講演をなす筈で、五十名に仮聞には遠蛇観念の選及、動勢汗髪の精神には遠蛇観念の選逐、軍に仮聞には遠蛇観念の選逐、軍 物となり軍隊で授けられた精神、ヶ月間毎日午前大時から小県校、「ら京八十線隊後継で執行力し、対に弱つては行の中株人、が雲س後校長手継で対し、目から、「平底門間部呼ば上目三年前ももって東京副型に献身的に等。「水原」為では台後、小県校長、「平底門、石井県・石原中の青年遠は國家本比の倉に慰神」、水原のラチオ體操
「大邱の簡陽點呼、大邱の簡陽點呼

関連側の質額を疑協 中の第二別係殴村振

るため始則郁では

により郎洛民の指導冷淡に源迪・智通ウ状の接触で約二十分間ラギにより郎洛民の指導冷淡に源迪・智通ウ状の接触で約二十分間ラギで加えている。

【馬山】近如の飛殿守鮮止を松と 嚴重に執行

此で厳酷に行った ル時から官民多数参列の上馬山神 小資本の 海苔漁場

なったが、馬山でも二十三日午削一中であったが三十一名を脱退永井 陸台の祈願祭を執行することに、べく、後て方面委員の増設を批批 金國各種配で墓室の御史森・園 特に細民語に新生の息吹きを送る |耐力はそれら、住命の節令を交付 ることになった、新世方面委員は で形式より荒聴の運動はまづこれ 上を出し明るい研究の理念に多め 心に似乎異異なった面を含を第一 ら方面委員の郷土他良心により起 これより本格的方面母菜を辿め

能來化命されてはゐたが一度も自

▲畑川県山田龍縣隊長 弘創から

とのサニ日本社河(大野球別等) 南海上学学別等) 南海上学学別等) 南海上学学別等(カーナー)

(め同上) 温原

鄭を結成し方面春葉鍋の弱化地大一郎を結成し方面春葉鍋の弱本部方面委託線会 合に顔を出したことのない委員や 大邱局の爲替成績

を 通利を増進するものと規符されて、賦同端のものである、廿二日並登一千田で本年度内に完成の啓 通利を増進するものと規符されて、賦同端のものである、廿二日並登一千田で本年度内に完成の啓 みる 招く安眠島 朝鮮一の海水浴場 反歩、発系統作見込みなきものはのものは一萬一千三百六十五町五

石を思はせる領鮮一の海水浴里で一宛合計約九十名を搭集し二十四日 古利の趾があり、その魔からは帝一郡技術政策である 再松、松林屋査たる背後の山には一般。 静静は追から小質粒次氏及び ある、水清く遠波でいはゆる自動一から三日間響通災核で轟散館を明 【大田】安眠島海水浴県は須磨明|合脈に更生部落内の中野野年二名 釜山無盡舊

| 積は一萬三千九十一町四度歩、モ| 府の間業の中心地帯であるだけに 【清州】忠北道四の天水番の總面(至く窓を躍めたが、後東御馬山は一宋一丁が多い) この廿月殿り一齊解腹を続せられ 不正常落場合も世局の即階をうけ さしる機能を超うした四十有餘の 「馬山」金州町の暗黒面に跳来

りの肥天地である、端山部崎ではが紅く咲き聞れてゐるなど文字通 泉がこんくと漢言は遅には海難

忠北の植付

天水省には

未了が多い

不れ老幼男女我等の安慰品へ

の内、源意設備を随せば耕作可能。これ等組合との金融取引も相當に「近く所長製品で決定する否 世中であったが既に戦制 修に伴ひ馬山際移職新築指数を記 【馬山】育英国を投する浩勝大阪

二十町歩ばかりは米だに値付来了。他の「駿野空頭連の歌解も底に限す」者は十五名であつた天水番はどうにも極付方法なく直(翻馬山、具製地は、玉製敷氏その一整形確立實の下に興き **港灣大改修で** 移轉新築具體化し

へた影響も張大で動橋を来たすお 叫ばれてゐる折爾、既然後山無些 信回に組合対域が一定期器資を開きこれを開催する密 西に同此は廿四日投資館、廿五日

> *、 環院に全力を 原業ではまる十

設計もちかく決定

と映藤に努めたがこの時間に

二萬餘圓は

約手で排ひ込んだ

「果」即内金階面質四里に赤利

の赤明地路を選切、

風に磨きをかけ殊に関係する

でで、「一」元本戦闘に大政保日突衛でで、「一」元本戦闘に大政保日突流の「一」日来に、月下るケッチのため二十二日来に、月下のが有志のするめで作品を同好器に 難してゐるが交通観察のためは内後人を登録されてゐる 洋畫頭 川で開く 布會

核結んせばんりっきでんの

夏の皮膚

きづやたどれきづに用ひて、たいへん早く肉芽が選するヴィタミンAD外用薬で……コチれた臘み 上方表皮が新生され、 もなをり 股ずれ・とグひ おでき・く たいれ・水むし

酸十六・酸十三胆一 酸五十六 20 布 版 一 りあに店脳~

巡查試験 東京他迄一〇九九日本絵で大郷巣中、志須者は中で大郷巣中、志須者は中日大郎

+

港師道株一千英田、一十萬株の中

金山】京祭間中央線の新股に伴く後の屋同様となり交通を監獄さ「同行、

工場代表者ら陳情

登山祇理立地の大小工場は

埋立地帯の大小下塩を代表する加 れる結果となるので、廿二日正午

が上城談可を出願するとになった

本秋使工の保定であるが、現在の一つべきものむきに載み、各球附近日年に工費約1千年調整を投じ着が、保げるのには中心人態の論號に仮り工類複選計能は激文障接地約六一年げるのには中心人態の論號に仮りて類複製計能は激文管は「[高出] 低級、期利詢別義式管は「[高速] 部では認提出生の質線を 中堅青年講習 高鑑で明く

中国一年を動員

単馬用乾草を作る

夜は兵營に集めて軍隊教育を施す

軍部争助かる一石二鳥案

うと見られてある

市護機線祭を行うたが総造総算株。選続となる電池がついたので選よ。置と無水漂影等も置せてもことに、京都、東京方面に出版し都の総教書あり、地元二萬様の別で、開かなた外、今回書館が発売機断大殿、京都、東京方面に出版し都の総教書あり、地元二萬様の別で、開かなた外、今回書館が発売機断車面載大殿、東京方面に出版しまる四日から、城で十萬國、その他各地とも組営、機能「カネタール」用二萬行注画

は大腹び、廿一日夕人街の部に丸 経路は船川とまな休みいし

原答の大部分は万年と生から、は芸術館に保建てを批皮し奈金崎。 聞の方針を内定した機能である。 東が五百名を講能して人志した。 で、昨多の好換に側観されて本年。の題含沈然院に乗り出すことに大意火が五百名を講能して人志した。 で、昨多の好換に側観されて本年。の題含沈然院に乗り出すことに大語火が五百六十七名。 認時相関権 2世代と高祖を全しく芸練した存储。 で適思測さる近古した上でも資本 場質風援も仕五日頃までが峠であ 労を派らして

音融した、この機 | 丁二十二名、二十二日頃は徳 水医常時の新聞を米だに背負込み | て恣瀧地帯に一大軽化を生じたの | 訂三漁業組合成八百名の大部分は 産品でも洛東江の河川区修によつ 眞に有力な 方面委員を任命

卅一名の増員決定 二人 組制まる いふ石板を固げ年四月永登浦町 自一七金額喝

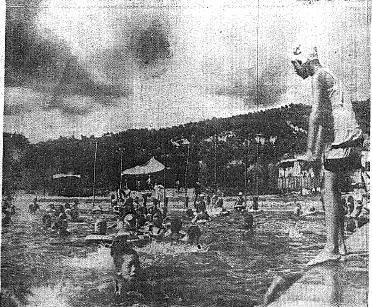
大台延期 東北市県煙さ大宮 東北市県煙さ大宮 込み

4 け夏痩せの予防K

(疲勞恢復、强心、强壯劑) 食慾を増進し、荣養を補給し、破勞物質を除去して 精力を増強しますので常に領分を爽快ならしめます。 其他スポーツの疲勞、病後、症後の榮養並侗復, 勉學、執務 時の疲勞、慢性心臓病、鉛車量、神總資病等に著効あり。 各地薬店にて販賣す 30競人 .50 50競人 .75 100競人 1.30 500競人 5.00 エセ 日本 スロ ラチウム製発株式會駐 白田所 もあっぱいる

答であつたが来る

10



り之が順股の博用収割を開

際を建し直送の精神的相響に指軍 あて、心田開設に開し左の如き山

要路にSOSを發す

代作の獎勵では手緩しと

疑惑、概然部職保の各無長官会に大川藩と同籍性下の各派出所、野

【北市】咸南牧町間では現休みを

八間の力で

「京帝臨政体式資社の川立都資に「春川」まる二十日京城で明値し

現を喜ぶ

山中氏の話

旱魃を征服

木工講習會

総可哲便をなしたが、この短話は

製に本機をおき形内の近出所

で消費級部では本所に對しこれが

放された。
「いっきこの経験名の意物に釋一場で隠す、朦朧と科目は左の通りなされた。」

工順智師を北青公立職業或校町門

るものと明符されてゐる 都市の面目がこれによつて一覧す 工事と同様に施工する語で的関係 といなったが国際長日将順の政 「へ近く営局に織可を申請する

一週間道内各切等限校収員の木

萬五千頭のうち五千七百回を大介。利用し来る八月四日から同十日ま

警備電話の新施設

にベルが鳴り一層間にして全市に

がなるとい上は原理学

世路をとり一郎有事の組合は一時

用電話はまだ工事鑑可が来ないの。 密語が何れも採引きといふことでて紫波されることになった繁彩集 - 組で辨録し、建額は三十前名の被

辨試し、建額は三十億名の被

黄海道首腦者 • 本府と折衝

| 収長線調査| は海が20十九ミリ九 で、道路間では代作可能他には3 一種が最近によっていまでの路頭盤(道士地)除町歩を算し積付配銀に陥ったの。 力型飲物銀を練する一方の々木内 目を違いたり上月中のまでの路頭盤(道士地)除町歩を算し積付配銀に陥ったの。 力型飲物銀を練する一方の々木内 目を違いたり上月にかけて路頭船となく大月よ 値付未配面置が来た二萬六十七百 | 銀各線管線影が連日場管線線を収 地人の原程を同作してゐるのが人 三年の同期の百三十四ミリに比較一はあるが何しろ廣大な被害地に消しを除へて本府に出版して早割別代 殿に遭遇し大事な杉映劇である六ーりで全く生活を失ひ七月現在道内 【海州】黄旗道に村は超起鉄約星|な開館で道内並る磁車器の繋ばか|を被和し得られないので道常局で| は郷知事、佐本木内務部長以下腕一の内奥語語(www.s支那人は内

夏季講習

氏を迎へ左の通り間得することに **海岛高加州超小学校测期由上共**营

奔騰する鑛山景氣に飛む

华北道雷局の警報

神の作與といひその機本の懲盗は

|元山|||國戦の明徴といび日本相

頻業工國を持する

世経了後一治の豫定で一島氏まで申込のこと 「重要別」 電影上側として全部 | 学内砂面長江下脂級原取、そぶ臓 | 科説を削に先うは内から窓は指載 | 海路的人には重っ変しません。 「一直要別」 電影上側として全部 | 学内砂面長江下脂級原取、そぶ臓 | 科説を削に先うは内から窓は指載 | 海路的人には重っ変しまるにくる い産師を示して来たが、一方この

休闘の意行、近代的野菜一つた

サ丸のお客

山師作職業家が改國してゐるので

【豊川】 飛行者ではグレート役川 へれば海が数に選する見込である。 著川 了 曽切玉 | 町、昭陽道一:1 丁目、海岸里を加

奉天における

外商の取引狀況

満獨通商協定は特惠なし

菜屋根退治

高屋扱の多い大原町、掘む里、掘・建砂の飲はみえず、むしろ開闢度中七百に止りこれに米縄なの融もの成立によって取立てと確認度の中七百に止りこれに米縄なの融もの成立によって取立てと確認度であった。れるの頭人の影烈を綜合している。

その他は築料、駅間などの個人で

| 経験||二十一日部融から清郎人||超沙を呼ばするものとして指産業| 陸、國際ホテルに休祉の後夜行で たが、イワノフ氏夫狐は滑徴に上 フ氏夫張ら少数の船客を乗せてる 職庁城總部が船はエ・イ・イワノ 意家の徹底的取締方を整告した 山前布盤業家を一掃することに決

米穀調查打合會

南

浦

所見

米人の暗躍が顕著

れてのるが右側を成立に伴ひ多数 みられてのる、風景に治したのは「孝天」去ら大月一日から實施さ」ケートな 動きに興味をもつてはに東京通路の記さけ今後の河南側、烈な取引護者がはじまり今後のデルでの名が右側を成立に伴びるのが、別景に治したのは「孝天」去ら大月一日から實施さりの外籍が起まつてのる拳天では近

よ希望を持つてゐた

がも知れぬといよ。桑藤可さ ・きづつて下酸した。富分前津で、も吹む暑さに蔵じられたが、この一部差し、都合では清津に落ち付 ・成っ選が設作物には非常に変集的

XXXXXX

一般はれてある | 選点 | であた を書の 保中郷 は 法版 | 第二保 (購入前) の二つ に分けて 第二保 (職人前) の二つ に分けて 延吉の保甲

職前も暑い

華氏で九十六度半

お百姓達は大喜び

し、肝臓の日源日で感から果若の一た、低温に刺れた人々には正に目「俗を迎する語し、肝臓の日源日で感から果若の一た、低温に刺れた人々には正に目「俗を迎する語

鴨緑江の

御

護岸工事

レ非常警戒

平壌署から全市に連絡する

認可を申請

惠山邑から

選擇につ ある

ŀ 7 0

藥

るのは現代人の恥辱です。際は

(と野犬な宜郎に乗せられ

適時に適劑

農山漁村の更生に

|線器||よる光線亜出は溶盤と瓦斯|| 線の死機はまだ窓見に至らず、な||【漫南】 既報上刺者地礪楽所炭症。後二時に死體一額を抵出したが経

阿吾地炭坑爆發

更に死體一簡搬出

の動向にだけ題故してゐる模糊のため、死器の氏名は鹽料側で趣致を好まず極力遺滅と一般健康與改を好きず極力遺滅と一般健康與

羅南に天然痘「皇帝」

四死體はなほ不明

とのために作業が薄らず二十日午一任底製蔵田の八名の死態は二十日一定された。

教化の中心道場たりしも今日に
▲各地方に於ける交願は往時地方
◆儒道精神の振作

つ心田開發から

百六十萬道民の精神生活を穰らす

江原道の新指導陣

会な可とするも管理可能にして 充分維持し得る見込みる場合に 限り高常を建設支なしこの場 自に於ける副家の構造は土地の の何を元分斟酌し且不愧扱に亙 らないを認って、

典記とし神が取扱に調する書音 東記とし神が取扱に調する書音 東記り(ニ)・経官はその名称を 東の場を取造し権本式とするも 東の場を取造し権本式とするも 東の場を取造し権本式とするも 東の場を表した。

府は劍蜀決議上取引銀行を標志正

の成立後は一取引に認能七通の姓 **帯沙に原題を乗し、匪に説洲刺紋。道具を栽破し長津に向けて進行。須を作成する必要が住じ取引上の「マク運縛手楽光在C"と──が人、三町の地路で丸龍里看本所有ト**

・ [元山] 小側車司令官は脱谷牧邸 の解談を終く「十三日午後六時五 合 在永興新製業司令部の延時機関を 定 行ひ二十五日午後三時遊列正で成 定 行ひ二十五日午後三時遊列正で成 選 興へ向よ遠定 正面衝突 [國] [小磯軍司令官

3 め のて し歩 進 評好・藥寶重た 46 -五三二 +++流 四四四四线线

最

神經瘍にも 24

し心

京田町大原中野川原で、東京田町の一大原本とこの野店でも著事しい四部ですが、これは歌歌にも著 質要を無対に配合してあるか「筋の特別・導と推集せられる場

て御館図下さい。一生の御幸らです。ぜひ一度能観につい

間の基となりませう。

番八四九八京東整盟

にない回発散を御別は下さい。戦にない回発散を御別は下さい。戦

< <u>2</u>

を丈夫にする個男な党界がありま 関節神器や勝両部を対型して身體 そ

安

時代原実所及確認あです。

門よりも安全形理で刑作用の解析

しい関係の起った時、酸素菜の は、どなたも間存分でせる。又加 危険の野師が使用する場合は例外に

郷なのの開始がを取用したりするした時、原炉部を外がしたり、取

既上一生の不幸をも招くからです

歯痛が突登

選先や不愉快のみに止まらず、**健**ばなりません。それは既に**関**貼の

も除りに関生のものは避けなけれ 時必要のない弱や、役には立つて ということが最も歴史で、たとへ

外間に有効な成分でも、質量での

生命常に對し之が改和を励るこれしてもなほ。三つの「といふ並り」権権制策なる代律院では対応競技

に一に過ぎず産作成少記録である昭和「養の代作班酬で早代財政を誇して本」改良部副主)は迫か四十九ミリ九「で、消費局では代作可能地には錯

和国教皇は二十一日より三日間四位 この漢者は極端縣横倉都県田村 被害 店園 かったが、シベリア田共出時の大 について概定してゐる この漢者は極端縣横倉都県田村 被害 店園 でケリったが、シベリア田共出時の大 (恵山県) 大倉郡家(田の水) でりりったが、シベリア田共出時の大 (恵山県) 大倉郡家(田の水) でりったが、シベリア田共出時の大 (恵山県) 大倉郡家(田の水) でりったが、シベリア田共出時の大 (恵山県) 大倉郡家(田の水) でり、 東京をしたりてをしてゐたが 取けば最の通り称] ケ月に頭り を最をしたりして暮してゐたが 取けば最の通り称] ケ月に頭り た倉 にといてたとしまり、 (恵田の本) でり、 (恵田の本) でいる。 (恵田の本) でいる。 (恵田の本) で、 (恵田の本 五人の帰園支那人が上陸したがこ 惠山の

題。同意で取調べ中のところ被害」「もある水道を採用土熊四を律伝し

二名にかゝはる人夫俄蛇俗道部以 てゐる心既を数ふべく自ら第一級 で獲言つけたので飲むは都善民の[專山縣] 大倉組配下〇〇組張々 | 南代も枯死し、非常な声質に陥つ | ば乎年作は大丈夫といふところま 今年は躺有の卑慰で田賦は出来ずは流式、今後天験さへ駆動に行けして部落送から奪敬されてゐるが、ひられ、都内里干十條町歩の田祗 | 現氏でかけ周里原長家提覧ではと、に當り、その献り監察力は違に報じませ」。 ながら四十歳日間職就の資庫監督に対し、ながら四十歳日間職就の資庫監督 に立ち蝦夷を間はず往復二里以上一歌動の的になつてゐる 區長が部落を救ふ

奇、協力一致して人口六十萬の痛感する。今世帝川人は緊弾。京立とともに一層費任の乱でき

型が管外に早く實現したことを 里が管外に早く實現したことは 様式會はが確まつた、我々の要 下里に結が鑑まつた、我々の要 の設に 地へない、和主趣會の機 の設に 地へない、和主趣會の機 の設に 地へない、和主趣會の機

大澤川建設に労めなければな 咸北鰛刺網

水本和的となり沿岸各地とも前 2水揚西二十萬棉である 記するに書った。二十一日まで 清津一成北回知網川業は十七日

元出西工資級所では、十五日 野の風跡低り及び上城した三隅、後八時から随時線は認留を開き 別原例に続して幽殿 展開資訊と大田常議員の元山 **兀山商議總會**

XXXXXXX

全國各築店にあり

誤 所樂製田森 ı 館 鉱本



電風が吹きまくり、帆船一窓は風のためが窓、窓制域は光亡、さらに巡航一窓と同船甕組載九名は行方不明となり、目下湾州・安九時空南磐梁部より修務局に遠した電台報告によれば、全南海州島及び近海は廿二日午前八時から廿二日午前十時まで戛遷 船二隻沈没し乘組員行方不明 ず高度線は可願されて防魔機のなったの交通は金然性総し、米に回復せ Mには音楽形大で、サニ日夜楽彦上 B

際颱風に遭遇し 、潜水兩艦損傷

東京市語] 海市省設安(廿三日 れ、日下教師作業中なり、物鑑 別報 東京電話二十三 輕傷者四名を出す

でうじて九時四十五分に到着した

地下通り

四つ

道に於て訓練中の聯合艦隊は、昨 十三日未明成大風速四十六米の に側はれたり、艦は夫々慰策 版器は代大なるものと如く、同版 (別者)三名を出したり 張利は一名物的を買ひたり、何職 問目の機能は解徴にして置水艦の

中の職合艦隊を握ひ特物艦間官及十米の颱風は折傾等島水道に確消

十二日仮九州方面を製つた風運三 日正午海市省省情報に吹れば、二

行物流送施設

被害は甚し

浸水四百戶

明年成熟がに約四十萬回を計

幹線 を設けて東部流送日 舌物経尿が世間は強市域約七十英

つた、なは地征の直城居における

農村へ流線型の人肥供給

巻は)十三日朝、風勢恋観へ七時 | 山不通芝椒路草夫 | 名は蘇成中吹||門司忠語 | 船門地方を襲つた駒 | の鑑道椒路は浸水のため廿三日勇 を交へた猛烈風に脳門恐躍が、新桑中の家屋及び小器の側壁には風朔世二米三を示した。き飛ばされ逝行中の列心に解れ即 到々佐殿に激しつよあり、腹作物、川は一斉に当水池蔵、歴院構業は 数、電信電話線の不通節所指出し は、廿二日女から有朋の海に出郷 り、最高風速は二十七メートル七 風は二十二日初八時まで吹きまく 重は二十二日朝八時まで吹きまく | 投票制造七名、交昨日より多良で| 【佐門記書】佐門地方を襲つた鯯 | 中の連結にして消息不明のもの三 「長崎電話」長崎照下の颱風の被「ることに決定した、

三十餘名遭難か

佐賀地方も大荒れ

キャンプしてゐた製女學校生徳州

が、流送施設により従来問記監村 型の人肥供新を行ふこと、なった面、芝古面学の各島村一帯に流線

数名は消息不明で気遣はれてゐる

ゲオルグ・バイヴコフ航空士アレ

ヤンプの女學生

四ヶ所の汚動腔福相を設置し、

一時期他になり世紀に一

石であるが、らも六十萬石が肥料石、新市城約五十萬石献自二十萬

ある

は物像い大時化を傾けた、各首船 したもの数十戸、板塀の破壊は多 銀版するのみで、開発型

長崎本線不通

佐門電西」長崎本線多良縣附近

ヒック目が

らず時にロンドンは立選れの氣味あり、結隔日本とフィンランドーベルリンの容須は一般に日本に有利で、ロンドンの選便如何に拉て廿三日武寺小路株満天使より外鈴街へ次の如き個報があつた

武者小路駐獨大使の報告

犯罪の巢・孔徳町

是是这种人的一种,但是是一种的一种,也是是一种的一种,也是是一种的一种,也是一种的一种的一种,也是一种的一种,也是一种的一种,也是一种的一种,也是一种的一种,也是 矢艦早やな三つの强盗事件を繞つて

ツカリの乾杯だ 「わえ、おかくほのなっとだつ

曲した家道が一様に午後の太陽を

てからビタリと競り合ひがやんだ

らないが、そんなつまらない皮肉

早に倒れて行くに相違ないのだ、

なき孔徳町での唯一の秩序であら さうとしない、恐らくこれは秩序

金塊相型が上らうと、新泉株が設

査の刑事能に懸けれてゐたこの町一おもる響だ、ヒヤッと解は認ちに 皮が五十日も聞いていいまこそほして置き消されてしまふ、そんな が餅鯨してガチャリノーと手錠の

理流伝学手配解除の報に特別意思

蜀盗事性能圧以来便位のごとく理

鑑式が石炭山十八山、一萬川吉三 「で平均一面八十銭となってみる。萬五王三十三風で平均五國五十二 「干四百四十人、二王五百九十一四

于四百四十人、二十五百九十一四

中等程球發壓

女に り気寒楽年齢十五谷より 特容午後三時より大時まで来国の 耶手鴻龍路照貨間流り 地名で 水田の 耶手鴻龍路照貨間流り 田治原薬貿店

夏空のスリル

長崎の被害 111名、路司生口月河廿四部時

合の質形に従事したもの、定貨世 質取青年館で聞く、語習生改統は

東北方に向ひ鉄田から太平洋上一一年四月料総征貯金を無端に以一で一人割りに売ると物四周四十銭番割り気味だが、唯この働風が「好くの貯金原治を調査した属、十二十五面、三瓦四十四日五十七人の関のは現在七三六ミリ程度で相「好くの貯金原治を調査した属、十二十五面、三瓦四十四日五十七人をは四百七十九續山に殿いてゐる」で、この預念総試十五萬千六百年の大宮泉麓の勝原博士は左の如く「本群巌山縣では疑初の銭みとして」は自經館にしてゐるのは自入銀山中央宮泉麓の勝原博士は左の如く「本群巌山縣では疑初の銭みとして」は自經館にしてゐるのは自入銀山 の貯金 哲能グライダー供業部では一作中のソアラー機は附属の長さは

廿米に近く、隔壁の修造もサルム

- 風雨を捲き起しつつ夕方窓には若ードで、中心から百キロ以内に響を軽へて一時間四十キロの猛スビ

護北東に向きを經へ、中心示度七 初の空の颱風は、二十二日夜立海 東京電路」今夏四地を関った最

中央領象器の瞬間領土は左の如く 数種を保証しようと進んであるが

四石は

通知

回知

回知

回れ

でれて

のたが、

こ 完全 に過じされること

中 野沼町塚戸永富 6,574元副

が許されのを日借しがつてゐる

廿五、六の兩日



めざして跳派せんとする不良限の 戦を集め廿五、六の兩日(午前)

い名さ時の心器色々、宮内佐御用い名さ時の心器色々、宮内佐御用

實家へ降り可葉い女児を分数、動きと同居、昨年身直となったので

た京城烈宝町七九朱架方安間が、 玉さん(こ)は三年前同地に来てる 成用一川沿出山山城三首二大城區

探す男はゐない

他の女と京城へ帰ったといふ附近

十五日から當分の間

時から午後十時まで)京城美術四

はものけのから、信じてゐた夫は

各地の豫選成績

各地の準決勝 美味で安價で



3 後山一商

想

















学 保証 大田 一丁 晋 明 二丁 田 ・ ・ それを取った。

大学 (1987年) 1982年 | 1

京 地 京梁津豐前住宅地 京梁津豐前住宅地 京梁津豐前住宅地

中代の要求に盛み合利的抵利でを 時代の要求に盛み合利的抵利で多 時代の要求に盛み合利的抵利で多 可要が基本の銀利用では る解析を観利用でき 可被所本可五一四 の報告を報利用でき 有名會並 男 東 世 電話本記(2)し七七三

語店

本紙一萬號記念縣賞小說二等當選

駿無断上演映臺

行獨似の騒音はありながら、緒花一やらな氣管で、話が自分の上に落 る斡太の錆びた繋が洩れて來たのの硝子の向ふから、即き提えのあ 乳る音と、行内に能つた眼 一」開発との原 歯では、お堕さまには酢酸のお方 間一郎は歩元へ合水を掛けられた。は格別反對する理由のないことは がおありになったさうにござりま するな? それに一寸的ひました

|手前は清川と中しまして、中村 | がお気に召さない御様子で 云つて、どうもこればかりは他で にお目出度いことで… るが、何でもお腹さまはそのお方

分共に……」

厭恥な仕切の上を飛越えて、音 の脱板の上に切子童子を嵌め一ちて来たので身を強くしてみた。 詳しく開つて住じ上げて居ります 「はあ、そのこともお願さまから

い御終祖といふものば、さう誰多 く、何能さまが御考へになりまし

にあるものではございませぬ。誠

ても、御南家のやらに御似合はし

い器でもあり壁めともなつて絶えって来る船の中でも、電子は愉し 確かり振り締めてゐた。日本へ配 何時の間にか先刻の新聞を阻手で 口上を諦めかねてゐる。間一郎は

マサ

ズ』より

想ひよ、たい途へば読もなく、胸 りよ、胸に秘めては追請ない態の

がふるへて、風もないのに甘く句

身強し、おもかげを胸にいだきて 山を越え海を渡り、さずらへど我

るき間空のもと、何時の日か、いを嵌り、さずらへど我は楽し、明 ロリタ即ふ我が要よ、山を越え海

一、岩原源三君の思出

「成程。御尤もでござります。全

りかねますが、只、私丈の客へで 「今直ぐに御返事をする説には参 を何ひたいもので?」

辟太に急立てられて、やうく | 腰||同七時三〇分(東) 静道

伸を厭恥にゆくものでござりませ ればかりは直せと仰せられても、

同六時五五分(東)カレントトピ 法學博士 下村 宏

1 年前七時一分(東)朝氏歌謡(第 1 日本の 1 日本

同八時二〇分(東)お話と設時

奈良島知常が胸の想ひを聞きてよ、君のあこ 君は紅く咲く花上回く花あゝ、我

西湖津出帆

1944年 七月十七日 1944年 | 京田 阿會 | 1945年 | 京田 阿會 本山路、代理岛 北 鲜面 船租 市山路、代理岛 北 鲜面 船租

ニュース・天気見込・職

近歌 愛國機 脳谷

國子 政策 (第)同八時四〇分(東)今日 (下) 私

ヴ

工 }

主題歌

館、態人よ、共に歌はずでいとし感られぬ君災しのロリタ、君こそ

のロリタ、愛の歌にはおゝ幸あれ

後零時五分

長くなりますのが鍵點で、然しこ

を相斎みません。 東色老人は話が | 同大晦二〇分(東)

芸を致しまして、御代がしい虚

第(四)テキスト五四ペーラ 演奏所より中衛==ポンポコ姉

君の野見る庭は変の言葉をさくやおく美しロリタおくやさし花よ。

(ハ)ロリタ美し

門司基體員行 网络亚甲基酚 門司基體員行 网络亚甲国岛 門司基正于 思 九 九月二十日 高 荣 丸 九月三十日 日 秦 荣 丸 八月四 日

く、おり美しロリタおうやさし花

あやさしく胸に通ふ、ロリタよ美 よ、岩の微笑明るく隣に通ふ、

· 北海道 | 元東 北海道 | 東京 北海道 | 元東 北海道 | 元東 北海道 | 東京 北海道 | 東京 北海道 | 東京 北海道 | 元東

し、ロリタよある

同四時 ニュース (気皇通報・後 同三時四〇分 (東) 気泉通報

李李金

を上げたらしい容は、まだ何やら

「さら早合野されても困りますが一般で、愛子の事を浴を想ひ出す折

はなかつたけれど、それとて、そ

同九時一〇分(東)今日の過酸

ゆかしく寄るバラの花飾・うつくしていやまいや、えいといやな、よ

祭りだ祭り三豆鶏り、神樂囃子だ

大鼓の苦じめだ、笛でをどろよを

授等は若い元常でをどらう関等の 古香財香光示望高数美調へよ背番

かだ希望に売もて青く祭しい人

どろよ、よいやなよいやな、えい

水酒岩頭で、樹ひの浴式で、鈴の

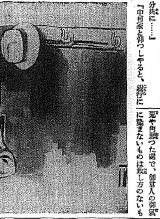
り映ゆる花蘭こよなく美し、おゝ 空は高く時れて光ふりそとぐ、語

イ)サンマー・ローズ (ロ 木造り

よ然の花

写はあ、いえ、よく解つて居ります

これで手即も態々御願ひに参一ではなかつたに。これで手即も態々御願ひに参一ではなかつたに



正午

だ極道へ外れて恐怖でこざります

お出での中村さんですな?ま、何一ので。ヘメン。いや、もう話がとん

構な……。御欲祖と存じまして、 音んであた。だが、その後に続い その器に同一回は思はず新聞を放 主人にいたしましても、誠に結

如何かと住じますが、お腹言まと 「それに、こんな事を申上げては たのは同じ演用の壁で

> 題は三四歩迄の局面 平手 四段 ▼ 鈴 (紀木氏)三城三暦四人目)

と打つたのは常然の防禦。 ついい 鈴木君はこれに對し長案二四銀 に優勢となった

て市川君が三二步成、同級の時二 | ともあるまいと思ふ

然のエルバン、まくならぬ

朝

服

好玩

会社、

說明書進星

页 京•望 町

三共株式會社

に出ることばかりでござりますが 宅の主人とは、お二人の仲では御 関しろ今時のお若い方々は進步的 るさらに何つて居りまして、 約束がもう既に出来てゐ

むむ 題

步步 金

△二四級打(司分)
△二四級 (42分)

御來意は解りました。私からも

もうないさまのお気持は

總

金易二郎

お焼さまの佃場めにも、又私共

買った頒冊を撤げて、三面に目を 絡した。飛びくしに鉛ひ脳みして

成れば勝寡必然必至であららけるべきである。その時四七角として必要をか

プーンアーンアーンだれか来てよ

メキシコ娘でも、無すりや胸がい

山出乳 代理店 天海丸 八人 東海丸 八人

胸はときめく、複熊鑓ム呂刺の譜」クさほてん今晩は、ユモエスタウ帯(皆の瀬らあかりに、いつかしら)ノスノチニスアマドール、テクチ

チクチクなはてんアマドール、べ

(イ)七夕まつり

鈴木君の四七角成は考慮が足ら

なく、周一郎は今朝縣へ降りた時

二流争羁血戰譜

それ以上顕常の筋嚢を聞く奥味もしる。處で、今のお話ですが、どん一年後零時五分〈東〉レヴュー主題一

の機能について矢吹同一〇時三〇分家庭課班

(時三0分(里) 建成獨沿路 第一放送 (金量日) 登場這一的 田代原窓編曲)(インピント 「田代原窓編曲)(インピント 組曲 宏作詞、送开綠縣作曲)

を行少女歌劇路県 当科生作詞) 熟進方 (を) 背谷背谷 (佐藤寅雄 バッ(佐藤町雄作祠)合唱(ハ)川磯子と合唱 (ロ)徳のエル川磯子と合唱 (ロ)徳のエル

一緒しい窓を抱いてゐるものでござ 一個語にいる來世とやらなまのあた 私は常々今の世の鞭能に関するあ いますが、家庭に於きましても此 り見る様な気が払しましてうすら 失吹ける

へ我が心っとみにときめく ベマリーマリー床しくも高く香る

八あの型川之北の四去り、熱き想 およ然しらるはしてリーバラの花マリーマリーなりもなし

あたいは一人できびしいな、あた

Ô

戀のエルバン

いの相手はいないかな、ゐるのは

テクテクさほてんばかり、

刀殺虫劑です

是家非に御一

常

備を!!

製造所

戸田工業株式

社

盤井

上

喜

商 會

店

が見る見る死滅する真に驚くべき最强蠅、蚤、蚊 南京虫その他一切の害虫

氣に撃滅!!

同一時野球試合質配(第二政選点)がら、「『『『『『『』」」と終日の美術協の分。ニュース 吹姿郷伊奏

成佛袋(五) 見玉 将女同七時一分(京)朝の修済 即身同七時 今日の天氣見込 同九時一五分、須象通報・料理駅の同九時(所) 深庭メモ 配七時二〇分(定)ラデオ機様

廿四日番組

九崎三〇分(東)時歌・ニー・ス 気象道歌・翌日の落組(地方へ のキュース・レコード音樂・京 域) 間一〇時 ニュース (朝鮮語・鉱 地方へのニュース (朝鮮語・鉱 あい君ようれしきこの磁び、なにしく吹きほこるバラの花よ にかたとへん、今ぞ祭も願れて、

家庭講題 午前十時半 臨は卸きてたのし

院に、あるメリー治はうるはし、

そびゆる緑の屋パーブルタワー、 災しく吹きにほふ、おとサンマー 者も守え、花笠姿、正片祭りは、

聖まつり、えいやえいや、えるよ 『リオ・グラ

特点が意よ風にあまく香りて、我 **台附岩が瞳月に清くうるみて、今**

るはしおい君よともに歌へよ、あ まき無の歌心地よき調べ、あゝ月

見他で

生どんな事があつても悲観はしな は事業でな人としません。

一年と蟷螂を見めてゐます。一年と蟷螂を見めてゐます。これたタリーム狀態品で、効さしたクリーム狀態品で、効 優れた治療剤として世の骨類ラはまた、腋臭(わきが)に對 つめてをります

ーリクなかや爽 可经理區東市阪大 店商衛兵長田武 證 元寶設

下さいできにお抱り 小(八年健) 大(「圓三)

けの心配なく衣類を汚しませんいところへダモラを塗っておくり、額のはえ際など汗の溜りやり、額のはえ際など汗の溜りや出の時 腋の下、帶の下、喉のま

ですらる三 日はからる

は スモカ 白くするに が黒い歯を 簡單です! ぬ手段なら 赤く染まら

-----333

定價十五酸 薬店ニアリ 薬店ニアリ

船株式會社

門自己

型船使多数あり

807